

**【ジェネリック医薬品 定点調査】**  
**患者におけるジェネリック医薬品への意識**  
**2014年10月 患者調査**

2015年1月6日

**沢井製薬株式会社**

ジェネリック医薬品の基本情報認知から、ジェネリック医薬品に関する意識などを時系列で分析する。

## 患者調査

調査対象： 過去3ヶ月以内に医療機関で自分のために薬を処方・調剤してもらった、30～60代男女400名（歯科・眼科・小児科での処方・調剤者は除く）

サンプル構成： 各年代を実際に「薬を服用している人」の構成比に近くなるよう割付

	30代	40代	50代	60代	合計
男性	40	43	45	73	201
女性	46	46	43	64	199
合計	86	89	88	137	400

調査項目： ・「ジェネリック医薬品」の認知・タッチポイント  
 ・「ジェネリック医薬品」処方・調剤経験  
 ・「ジェネリック医薬品」使用後の態度変容  
 ・「ジェネリック医薬品」の今後の使用意向 など

対象地区： 首都圏1都3県、関西2府4県

調査手法： インターネット調査（調査機関：楽天リサーチ）

調査期間： 2014年10月24日（金）～26日（日）

## 【対象者条件】

「過去3ヶ月以内に」、「自分の病気や怪我の治療(診療)」のために「病院(歯科・眼科・小児科を除く)」に行き、薬を処方・調剤された人

## 【内訳】

	N	%
全体	400	
男性	201	50.3%
女性	199	49.8%

	N	%
男性30代	40	10.0%
男性40代	43	10.8%
男性50代	45	11.3%
男性60代	73	18.3%
女性30代	46	11.5%
女性40代	46	11.5%
女性50代	43	10.8%
女性60代	64	16.0%

	N	%		N	%
東京都	97	24.3%	大阪府	66	16.5%
神奈川県	76	19.0%	兵庫県	36	9.0%
埼玉県	44	11.0%	京都府	14	3.5%
千葉県	44	11.0%	奈良県	14	3.5%
首都圏計	261	65.3%	滋賀県	7	1.8%
			和歌山県	2	0.5%
			関西圏計	139	34.8%

## 【調査内のジェネリック医薬品理解レベルに関して】

### ■高レベル:

Q5で下記6項目すべてを認知している層

- ・医師から処方される薬である(医療用医薬品)
- ・新薬の特許が切れた後に発売される薬である
- ・新薬と同じ主成分・同等の効き目・品質である
- ・薬の価格は新薬の2~6割である
- ・ジェネリック医薬品の使用は、国全体の医療費節減につながる
- ・日本ではまだ約45%程度しか使用されていない

### ■中レベル:

Q5下記4項目すべてを認知している層

- ・医師から処方される薬である(医療用医薬品)
- ・新薬の特許期間満了後に発売される薬である
- ・新薬と同じ主成分・同等の効き目・品質である
- ・薬の価格は新薬の2~6割である

### ■低レベル:

高・中レベル以外の層

- Q1. 「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」をご存知ですか。(SA)
- Q2. (Q1で「知っている」「名前は知っている」と回答された方へ)  
あなたは「ジェネリック医薬品」のことを、どこで見聞きされたことがありますか？あてはまるものをすべてお選びください。(MA)
- Q3. (「ジェネリック医薬品について」はQ1で「知っている」「名前は知っている」と回答された方へ)  
「病気のこと」「お薬のこと」「ジェネリック医薬品のこと」について知りたいとき、あなたは普段どこで聞いたり、調べたりしていますか？(MA)
- Q4. (Q3で「ジェネリック医薬品」について「調べたことはない」以外を選択された方へ)  
「ジェネリック医薬品」について、どのようなことを調べましたか。あてはまるものをすべてお選びください。(MA)
- Q5. 「ジェネリック医薬品」には次のような特徴があります。あなたをご存知の事柄をすべてお選びください。(MA)
- Q6. 「ジェネリック医薬品」について、もっと具体的に知りたいことはなんですか？あてはまるものをすべてお選びください。(MA)
- Q7. これまでに、医師や薬剤師に対して「ジェネリック医薬品を処方・調剤して欲しい」と希望したことはありますか？(SA)
- Q8. (Q7で「希望したことはない」と回答された方へ)  
「ジェネリック医薬品」の処方・調剤を希望しない理由について、あてはまるものをすべてお選びください。(MA)
- Q9. 今後、ジェネリック医薬品の処方・調剤を医師や薬剤師に希望しようと思えますか？(SA)
- Q10. (Q1で「知っている」「名前は知っている」と回答された方へ)  
以下の説明文をお読みになってお答えください。あなたはこのことをご存知でしたか。(SA)  
病院・薬局で薬を処方してもらう際、受け取った処方せんに医師のサインがあっても「変更不可」欄にチェックがなければ、その薬を患者は薬剤師と相談して、ジェネリック医薬品に変更することができます。
- Q11. (Q1で「知っている」「名前は知っている」と回答された方へ)  
最近、医療機関でお薬をもらう際、医師や薬剤師からジェネリック医薬品について説明されていますか。(SA)
- Q12. (Q1で「知っている」「名前は知っている」と回答された方へ)  
最近、実際にジェネリック医薬品を使用・服用したことはありますか？(MAマトリクス→SA)
- Q13. (Q12で「ジェネリック医薬品を使用・服用した」と回答された方へ)  
ジェネリック医薬品を実際に使用・服用してから、ジェネリック医薬品の使用・服用に対してどのように感じるようになりましたか。(SA)
- Q14. (Q12で「ジェネリック医薬品を使用・服用した」と回答された方へ)  
前問で、あなたはジェネリック医薬品の使用・服用に対して【Q13の答え】とお答えになりましたが、あなたがそのように感じるようになった理由について、できるだけ詳しくお答えください。(FA)
- Q15. 今後、医療機関でお薬をもらう際、ジェネリック医薬品へ変更したいと思えますか。(SA)
- Q16. 前問で【Q15の答え】とお答えになった理由を自由にお書きください。(FA)
- Q17. ジェネリック医薬品が、国民医療費の節減や患者負担の軽減(お薬代が安くなる)に寄与することを踏まえ、あなたご自身のお考えとしてお答えください。今後ジェネリック医薬品はよりいっそう世の中に広まっていくべきだと思いますか？(SA)

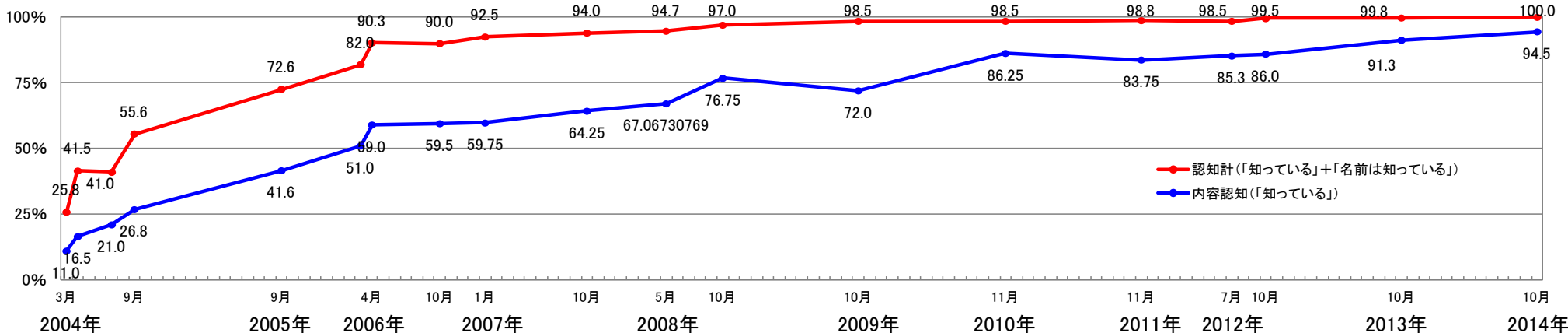
※ SA : 単一回答  
※ MA : 複数回答  
※ FA : 自由回答

# ジェネリック医薬品の認知状況

Q1.「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」をご存知ですか。(SA)

ジェネリック医薬品の名称認知は100%となった。  
 内容認知は94.5%で13年10月より4.0pt増となり、過去調査のうち最も高くなっている。

※08年10月以降、対象者の割付が変更されているため、08年05月以前の時系列比較は参考



(%)	N	知っている										
		05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	
		9月	10月	10月	10月	10月	11月	11月	7月	10月	10月	10月
全体	400	41.6	59.5	64.3	76.8	72.0	86.3	83.8	85.3	86.0	91.3	94.5
男性30代	40	51.9	56.0	68.0	81.6	79.5	80.0	77.5	85.0	90.0	92.5	90.0
男性40代	43	38.5	62.0	62.0	80.6	75.0	92.9	90.9	97.7	93.2	93.2	93.0
男性50代	45	50.0	68.0	60.0	76.0	83.3	89.4	87.5	87.5	89.6	89.6	100.0
男性60代	73	50.0	54.0	64.0	86.0	78.7	90.3	88.1	80.6	82.1	91.0	95.9
女性30代	46	23.1	62.0	72.0	71.9	62.3	83.3	85.7	87.8	79.6	91.8	91.3
女性40代	46	34.6	56.0	64.0	68.2	67.4	78.0	83.0	85.1	78.7	89.4	95.7
女性50代	43	50.0	56.0	52.0	75.4	63.3	91.7	76.9	73.1	84.6	90.4	100.0
女性60代	64	34.6	62.0	72.0	75.4	67.7	83.6	79.2	88.7	92.5	92.5	90.6
高レベル	25						100.0	96.3	96.0	97.0	96.7	100.0
中レベル	144						94.7	90.7	90.4	91.5	97.4	97.9
低レベル	231						80.7	78.7	79.9	80.4	86.3	91.8

名前を知っている													
05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年				
9月	10月	10月	10月	10月	11月	11月	7月	10月	10月	10月			
31.0	30.5	29.8	20.3	26.5	12.3	15.0	13.3	13.5	8.5	5.5			
28.8	30.0	22.0	18.4	20.5	20.0	22.5	15.0	10.0	7.5	10.0			
34.6	32.0	22.0	19.4	22.5	4.8	9.1	2.3	6.8	6.8	7.0			
19.2	22.0	40.0	20.0	14.6	6.4	10.4	10.4	10.4	10.4	0.0			
21.2	40.0	32.0	12.3	21.3	8.1	11.9	14.9	16.4	9.0	4.1			
48.1	28.0	26.0	26.3	34.0	16.7	14.3	12.2	18.4	8.2	8.7			
40.4	32.0	28.0	25.0	32.6	22.0	14.9	14.9	21.3	10.6	4.3			
23.1	34.0	44.0	21.1	36.7	6.3	21.2	23.1	15.4	7.7	0.0			
32.7	26.0	24.0	19.7	29.0	14.8	17.0	11.3	7.5	7.5	9.4			
					0.0	3.7	4.0	3.0	3.3	0.0			
					5.3	9.3	9.0	8.5	2.6	2.1			
					16.9	19.3	17.7	18.7	13.2	8.2			

認知計 (知っている+名前を知っている)													
05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年				
9月	10月	10月	10月	10月	11月	11月	7月	10月	10月	10月			
72.6	90.0	94.0	97.0	98.5	98.5	98.8	98.5	99.5	99.8	100.0			
80.7	86.0	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
73.1	94.0	84.0	100.0	97.5	97.6	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
69.2	90.0	100.0	96.0	97.9	95.7	97.9	97.9	100.0	100.0	100.0			
71.2	94.0	96.0	98.2	100.0	98.4	100.0	95.5	98.5	100.0	100.0			
71.2	90.0	98.0	98.2	96.2	100.0	100.0	100.0	98.0	100.0	100.0			
75.0	88.0	92.0	93.2	100.0	100.0	97.9	100.0	100.0	100.0	100.0			
73.1	90.0	96.0	96.5	100.0	97.9	98.1	96.2	100.0	98.1	100.0			
67.3	88.0	96.0	95.1	96.8	98.4	96.2	100.0	100.0	100.0	100.0			
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	99.4	100.0	100.0	100.0			
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	97.6	98.0	97.6	99.1	99.5	100.0			

※N数は2014年10月調査。黄色は前回調査より5pt以上アップ

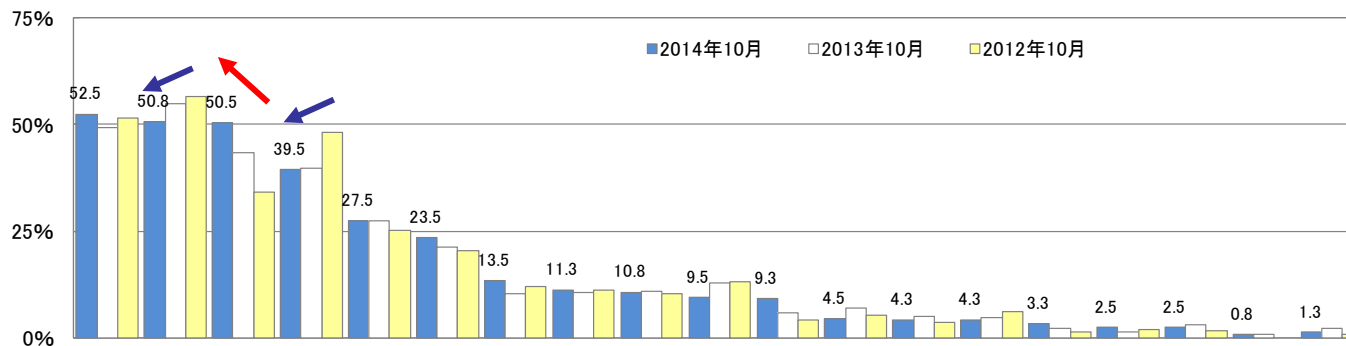


# ジェネリック医薬品のタッチポイント

Q1で「知っている」「名前は知っている」と回答された方へ

Q2. あなたは「ジェネリック医薬品」のことを、どこで見聞きされたことがありますか？あてはまるものをすべてお選びください。(MA)

ジェネリック医薬品を見聞きするポイントは「病院、薬局のポスター」が最も高く52.5%、「テレビ番組」50.8%、「薬剤師から」50.5%と続く。「テレビ番組」「テレビCM」のスコアが減少傾向にあり、一方で「薬剤師から」のスコアは年々上昇している。



	(%)	N	病院、薬局のポスター	テレビ番組	薬剤師から	「広告」テレビCM	新聞記事	医師から	WEBサイトの	雑誌記事	組合からの健康保険	「広告」新聞広告	市区町村などの自治体	「広告」インターネット広告	「広告」雑誌広告	友人、知人から	ラジオ番組	「広告」ラジオCM	ポスター・中吊り広告	「広告」電車のポスター・カーや駅貼	その他	特に見聞きすることは
全体	2012年10月	398	51.5	56.5	34.2	48.2	25.1	20.4	12.1	11.1	10.3	13.1	4.3	5.3	3.5	6.0	1.3	2.0	1.8	0.0	0.8	
	2013年10月	399	49.4	54.9	43.4	39.8	27.3	21.3	10.3	10.5	11.0	12.8	5.8	7.0	5.0	4.8	2.3	1.5	3.0	0.8	2.3	
	2014年10月	400	52.5	50.8	50.5	39.5	27.5	23.5	13.5	11.3	10.8	9.5	9.3	4.5	4.3	4.3	3.3	2.5	2.5	0.8	1.3	
性年代	男性30代	40	52.5	50.0	35.0	40.0	27.5	32.5	25.0	12.5	7.5	12.5	5.0	5.0	7.5	7.5	2.5	5.0	7.5	0.0	0.0	
	男性40代	43	48.8	51.2	37.2	41.9	20.9	16.3	7.0	16.3	7.0	4.7	4.7	2.3	0.0	4.7	4.7	2.3	2.3	0.0	2.3	
	男性50代	45	66.7	57.8	57.8	40.0	35.6	28.9	26.7	17.8	20.0	11.1	8.9	8.9	4.4	2.2	6.7	2.2	6.7	0.0	0.0	
	男性60代	73	47.9	50.7	46.6	35.6	43.8	20.5	19.2	16.4	16.4	16.4	23.3	8.2	11.0	4.1	5.5	4.1	1.4	1.4	1.4	
	女性30代	46	52.2	47.8	56.5	43.5	4.3	19.6	4.3	4.3	0.0	2.2	2.2	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	2.2	2.2	2.2	
	女性40代	46	60.9	32.6	54.3	37.0	10.9	26.1	8.7	4.3	13.0	6.5	8.7	2.2	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性50代	43	55.8	53.5	60.5	53.5	32.6	20.9	9.3	9.3	14.0	16.3	7.0	4.7	7.0	2.3	7.0	7.0	2.3	0.0	0.0	
女性60代	64	42.2	59.4	54.7	31.3	32.8	25.0	7.8	7.8	6.3	4.7	6.3	1.6	0.0	7.8	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6		
GE理解レベル	高レベル	25	64.0	56.0	52.0	60.0	52.0	44.0	24.0	40.0	20.0	20.0	32.0	16.0	12.0	8.0	8.0	12.0	8.0	8.0	8.0	0.0
	中レベル	144	55.6	50.0	55.6	44.4	32.6	31.9	18.8	11.8	13.2	12.5	8.3	5.6	7.6	4.2	4.2	2.8	2.8	0.0	0.7	
	低レベル	231	49.4	50.6	47.2	34.2	21.6	16.0	9.1	7.8	8.2	6.5	7.4	2.6	1.3	3.9	2.2	1.3	1.7	0.4	1.7	

は全体より5pt以上。 は全体より5pt以下。

# ジェネリック医薬品について調べた経験の有無

「ジェネリック医薬品について」は  
Q1で「知っている」「名前は知っている」と  
回答された方へ

Q3.「病気のこと」「お薬のこと」「ジェネリック医薬品のこと」について知りたいとき、  
あなたは普段どこで聞いたり、調べたりしていますか？(MA)

病気について調べたことがある人は全体の92.8%。お薬については89.3%で、いずれも横ばいで推移。  
ジェネリック医薬品について調べたことのある人は81.3%で、12年10月調査より6.9pt上昇。  
男性50～60代、女性40～50代で80%を超えている。

## 病気について

		(%)	調べた	調べたことはない
全体	2014年10月(N=400)		92.8	7.3
	2013年10月(N=400)		93.8	6.3
	2012年10月(N=400)		93.0	7.0
性年代	男性30代(N=40)		90.0	10.0
	男性40代(N=44)		90.7	9.3
	男性50代(N=48)		93.3	6.7
	男性60代(N=67)		91.8	8.2
	女性30代(N=49)		95.7	4.3
	女性40代(N=47)		97.8	2.2
GE理解レベル	女性50代(N=52)		93.0	7.0
	女性60代(N=53)		90.6	9.4
	高レベル(N=30)		96.0	4.0
	中レベル(N=151)		95.8	4.2
	低レベル(N=219)		90.5	9.5

## お薬について

		調べた	調べたことはない
全体	2014年10月(N=400)	89.3	10.8
	2013年10月(N=400)	87.5	12.5
	2012年10月(N=400)	89.3	10.8
性年代	男性30代(N=40)	82.5	17.5
	男性40代(N=44)	76.7	23.3
	男性50代(N=48)	93.3	6.7
	男性60代(N=67)	90.4	9.6
	女性30代(N=49)	95.7	4.3
	女性40代(N=47)	95.7	4.3
GE理解レベル	女性50代(N=52)	90.7	9.3
	女性60代(N=53)	87.5	12.5
	高レベル(N=30)	88.0	12.0
	中レベル(N=151)	93.1	6.9
	低レベル(N=219)	87.0	13.0

## ジェネリック医薬品について

		調べた	調べたことはない
全体	2014年10月(N=400)	81.3	18.8
	2013年10月(N=400)	79.4	20.6
	2012年10月(N=400)	74.4	25.6
性年代	男性30代(N=40)	77.5	22.5
	男性40代(N=44)	69.8	30.2
	男性50代(N=48)	88.9	11.1
	男性60代(N=67)	87.7	12.3
	女性30代(N=49)	78.3	21.7
	女性40代(N=47)	80.4	19.6
GE理解レベル	女性50代(N=52)	86.0	14.0
	女性60代(N=53)	78.1	21.9
	高レベル(N=30)	92.0	8.0
	中レベル(N=151)	86.8	13.2
	低レベル(N=219)	76.6	23.4

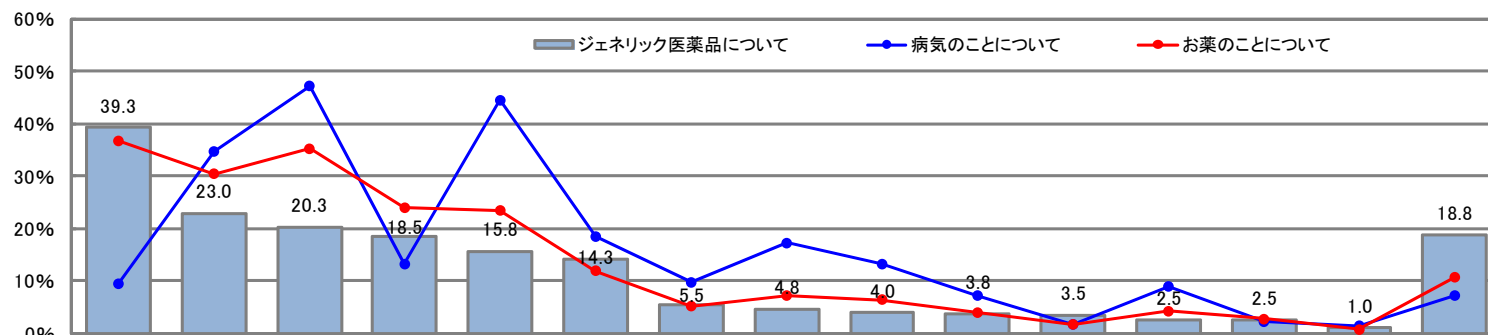


# ジェネリック医薬品や病気・薬について調べた方法

「ジェネリック医薬品について」は  
Q1で「知っている」「名前を知っている」と  
回答された方へ

Q3. 「病気のこと」「お薬のこと」「ジェネリック医薬品のこと」について知りたいとき、  
あなたは普段どこで聞いたり、調べたりしていますか？ (MA)

ジェネリック医薬品について聞いた・調べた先は「薬剤師」の39.3%がトップで、13年10月より6.0pt上昇。  
次いで「その他のWEBサイト」23.0%、「医師」20.3%と続く。



(%)	N	薬剤師	その他のWEBサイト	医師	製薬メーカーのウェブサイト	疾患・治療法のウェブサイト	設置された病院や薬局	新聞	家族、友人、知人	本	雑誌	健康保険組合	協会の患者会など	製薬メーカー	その他	こ聞いたり調べた
全体	400	9.5	34.8	47.3	13.3	44.5	18.5	9.8	17.3	13.3	7.3	1.8	9.0	2.3	1.5	7.3
	400	36.8	30.5	35.3	24.0	23.5	12.0	5.3	7.3	6.5	4.0	1.8	4.3	2.8	0.8	10.8
	400	39.3	23.0	20.3	18.5	15.8	14.3	5.5	4.8	4.0	3.8	3.5	2.5	2.5	1.0	18.8
	399	33.3	24.1	17.8	19.5	12.0	12.8	7.3	8.0	4.8	4.3	4.8	4.5	1.8	2.5	20.6
	398	27.4	20.4	17.6	15.1	15.3	15.6	5.0	6.3	3.8	4.3	3.0	5.5	1.8	2.8	25.6
性年代	40	27.5	42.5	25.0	22.5	20.0	17.5	2.5	7.5	5.0	2.5	5.0	5.0	5.0	5.0	22.5
	43	18.6	20.9	9.3	11.6	14.0	11.6	4.7	7.0	2.3	2.3	0.0	0.0	2.3	0.0	30.2
	45	48.9	22.2	28.9	11.1	15.6	13.3	6.7	4.4	4.4	2.2	6.7	2.2	2.2	0.0	11.1
	73	38.4	20.5	17.8	17.8	21.9	16.4	8.2	2.7	2.7	6.8	5.5	0.0	1.4	1.4	12.3
	46	54.3	26.1	26.1	23.9	15.2	17.4	4.3	6.5	4.3	4.3	0.0	8.7	0.0	0.0	21.7
	46	37.0	21.7	23.9	32.6	10.9	13.0	0.0	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	4.3	0.0	19.6
	43	44.2	32.6	11.6	20.9	7.0	16.3	11.6	9.3	7.0	4.7	2.3	2.3	2.3	0.0	14.0
	64	42.2	7.8	20.3	10.9	17.2	9.4	4.7	1.6	4.7	3.1	4.7	1.6	3.1	1.6	21.9
GE理解レベル	25	44.0	24.0	36.0	48.0	32.0	28.0	4.0	12.0	20.0	12.0	4.0	16.0	4.0	0.0	8.0
	144	43.1	26.4	27.1	23.6	19.4	16.7	4.9	4.2	4.2	2.8	4.9	1.4	2.8	0.0	13.2
	231	36.4	20.8	14.3	12.1	11.7	11.3	6.1	4.3	2.2	3.5	2.6	1.7	2.2	1.7	23.4

は全体より5pt以上。

は全体より5pt以下。

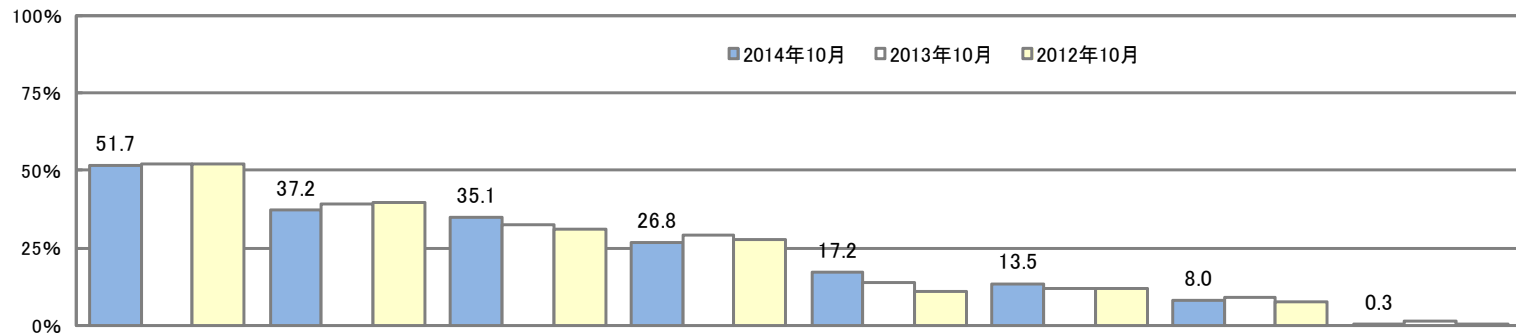


# ジェネリック医薬品について調べたこと

Q3で「ジェネリック医薬品」について「調べたことはない」以外を回答された方へ

Q4.「ジェネリック医薬品」について、どのようなことを調べましたか。あてはまるものをすべてお選びください。(MA)

「自分が飲んでいる薬にあるのか」が51.7%でトップ。12年10月、13年10月と全体的に傾向は変わらない。



	(%)	N	自分が飲んでいる薬にあるのか	それぞれの薬がいくらかい安くなるのか	有効性・安全性・品質について	どんな病気の薬で発売されているのか	製造している医薬品メーカーについて	どうすれば、処方・調剤してくれるのか	処方・調剤している医療機関について	その他
全体	2014年10月	325	51.7	37.2	35.1	26.8	17.2	13.5	8.0	0.3
	2013年10月	317	52.1	39.1	32.5	29.3	13.9	12.0	9.1	1.3
	2012年10月	296	52.0	39.9	31.1	27.7	11.1	11.8	7.4	0.7
性年代	男性30代	31	45.2	41.9	38.7	41.9	22.6	12.9	3.2	0.0
	男性40代	30	50.0	40.0	36.7	6.7	13.3	13.3	3.3	0.0
	男性50代	40	42.5	45.0	27.5	35.0	15.0	15.0	7.5	0.0
	男性60代	64	56.3	42.2	32.8	25.0	23.4	14.1	7.8	0.0
	女性30代	36	38.9	22.2	50.0	27.8	22.2	8.3	16.7	0.0
	女性40代	37	48.6	29.7	29.7	27.0	18.9	13.5	8.1	2.7
	女性50代	37	70.3	43.2	45.9	21.6	10.8	21.6	10.8	0.0
女性60代	50	56.0	32.0	26.0	28.0	10.0	10.0	6.0	0.0	
GE理解レベル	高レベル	23	73.9	60.9	52.2	34.8	34.8	21.7	17.4	0.0
	中レベル	125	55.2	40.8	36.0	34.4	16.0	14.4	7.2	0.0
	低レベル	177	46.3	31.6	32.2	20.3	15.8	11.9	7.3	0.6

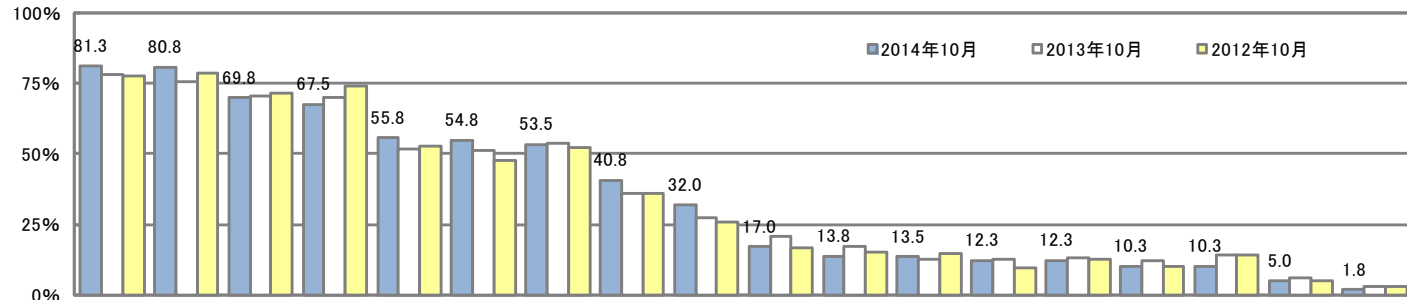
は全体より5pt以上。

は全体より5pt以下。

Q5.「ジェネリック医薬品」には次のような特徴があります。あなたご存知の事柄をすべてお選びください。(MA)

「新薬と同じ主成分・効き目」が81.3%で13年10月より3.0pt上昇し、トップとなった。

「特許が切れた後に発売」も80%台。「医師から処方される薬」「価格は新薬の2～6割」が60%台で続く。



(%)	N	新薬と同じ主成分・効き目	新薬の特許が切れた後に発売される薬である	医師から処方される薬である(医療用医薬品)	薬の価格は新薬の2～6割である(※)	患者個人の自己負担額の軽減につながる(薬代が安くなる)	ジェネリック医薬品の使用は、可能な場合、医師・薬剤師と相談のうえジェネリック	安くおさえられるため、研究費が	ジェネリック医薬品の使用は、国全体の医療費削減につながる	健康保険組合の財政健全化につながる	有効性・安全性が確認されている	臨床試験ではなく、生物学的同等性試験及び溶出試験により	様々な分野で展開されている	生活を習慣病治療剤・抗がん剤など	欧米諸国の多くでは医療用医薬品の約70%のシェアを占め、	錠剤だけでなく、注射剤・点眼剤・貼付剤など様々な	日本ではまだ約45%程度しか使用されていない(※)	日本では国の方針として平成30年	ひとつも知らない	
全体	2014年10月	400	81.3	80.8	69.8	67.5	55.8	54.8	53.5	40.8	32.0	17.0	13.8	13.5	12.3	12.3	10.3	10.3	5.0	1.8
	2013年10月	400	78.3	75.5	70.8	70.3	51.8	51.3	54.0	36.0	27.5	21.0	17.0	12.8	13.3	12.3	14.0	6.3	2.8	
	2012年10月	400	77.8	78.8	71.5	74.0	52.5	47.8	52.3	35.8	26.0	16.8	15.3	14.8	12.5	10.0	14.3	5.3	3.0	
性年代	男性30代	40	85.0	85.0	82.5	62.5	47.5	50.0	50.0	35.0	40.0	7.5	5.0	12.5	15.0	12.5	10.0	2.5	2.5	
	男性40代	43	81.4	76.7	69.8	62.8	58.1	41.9	53.5	34.9	20.9	14.0	7.0	11.6	16.3	11.6	9.3	4.7	2.3	
	男性50代	45	80.0	84.4	71.1	75.6	60.0	46.7	60.0	46.7	37.8	22.2	24.4	20.0	15.6	17.8	11.1	4.4	6.7	4.4
	男性60代	73	83.6	91.8	64.4	75.3	69.9	53.4	64.4	63.0	50.7	19.2	20.5	16.4	13.7	16.4	11.0	19.2	8.2	0.0
	女性30代	46	69.6	65.2	60.9	52.2	39.1	56.5	41.3	26.1	10.9	21.7	13.0	13.0	4.3	13.0	19.6	13.0	6.5	6.5
	女性40代	46	87.0	76.1	76.1	76.1	52.2	60.9	54.3	30.4	28.3	10.9	13.0	17.4	13.0	8.7	10.9	6.5	4.3	0.0
GE理解レベル	高レベル	25	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	92.0	100.0	92.0	64.0	68.0	36.0	64.0	76.0	56.0	100.0	48.0	0.0
	中レベル	144	100.0	100.0	100.0	100.0	66.0	69.4	72.9	50.7	38.9	22.2	18.1	16.0	13.2	14.6	13.9	4.2	2.8	0.0
	低レベル	231	67.5	66.7	47.6	43.7	44.6	40.7	37.2	28.1	21.2	8.7	5.2	9.5	6.1	3.9	3.0	1.7	3.0	

(※)2013年調査と一部文章内容を変更(数値更新)

は全体より5pt以上。

は全体より5pt以下。

Q5.「ジェネリック医薬品」には次のような特徴があります。あなたご存知の事柄をすべてお選びください。(MA)

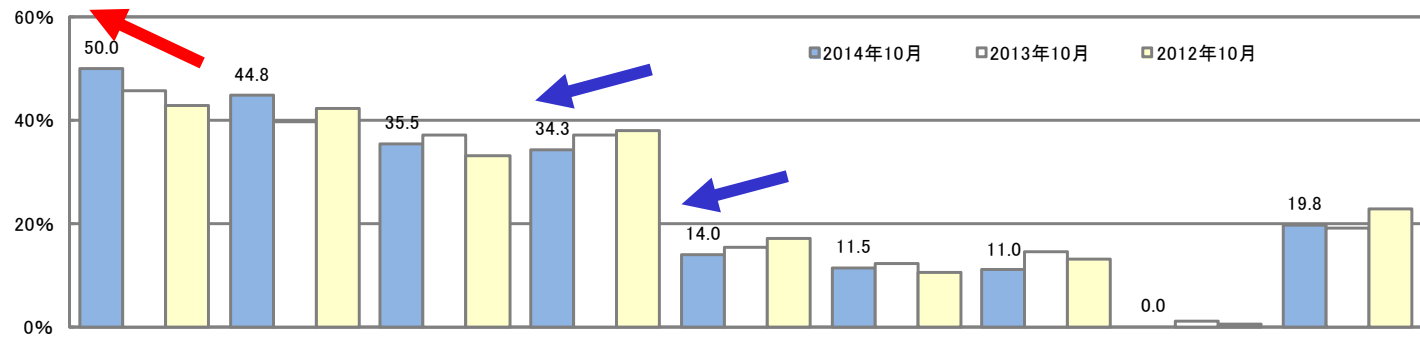
主要6項目をすべて認知している「高レベル」は全体の6.3%、4項目を認知している「中レベル」は36.0%で、13年10月調査から微減。男性60代で「高レベル」が多く、13.7%。

(%)		高レベル	中レベル	低レベル
全体	全体(2014年10月)(N=400)	6.3	36.0	57.8
	全体(2013年10月)(N=400)	7.5	37.8	54.8
	全体(2012年10月)(N=400)	8.3	38.3	53.5
性年代	男性30代(N=40)	5.0	42.5	52.5
	男性40代(N=43)	7.0	25.6	67.4
	男性50代(N=45)	4.4	48.9	46.7
	男性60代(N=73)	13.7	34.2	52.1
	女性30代(N=46)	6.5	23.9	69.6
	女性40代(N=46)	2.2	45.7	52.2
	女性50代(N=43)	4.7	37.2	58.1
	女性60代(N=64)	3.1	32.8	64.1

# ジェネリック医薬品について知りたいこと

Q6.「ジェネリック医薬品」について、もっと具体的に知りたいことはなんですか？あてはまるものをすべてお選びください。(MA)

「いくらか安くなるのか」が50.0%で最も高く、13年10月より4.2pt上がり、増加傾向。  
 「自分の薬と同じ成分があるか」「どうすれば、処方・調剤してくれるか」はやや減少傾向。



	(%)	N	いくらか安くなるのか	有効性・安全性・品質について(前回)	どんな病気の薬なのか	自分が飲んでいる薬と同じ成分があるのか	どうすれば、処方・調剤してくれるのか	メーカーにいる医薬品	処方・調剤している	その他	特になし
全体	2014年10月	400	50.0	44.8	35.5	34.3	14.0	11.5	11.0	0.0	19.8
	2013年10月	400	45.8	39.8	37.3	37.0	15.5	12.3	14.5	1.0	19.0
	2012年10月	400	42.8	42.3	33.0	38.0	17.0	10.5	13.0	0.5	22.8
性年代	男性30代	40	75.0	57.5	40.0	35.0	15.0	17.5	12.5	0.0	10.0
	男性40代	43	46.5	25.6	25.6	27.9	9.3	2.3	4.7	0.0	30.2
	男性50代	45	40.0	42.2	33.3	37.8	13.3	13.3	11.1	0.0	24.4
	男性60代	73	46.6	39.7	28.8	38.4	13.7	8.2	8.2	0.0	24.7
	女性30代	46	54.3	47.8	37.0	23.9	17.4	13.0	6.5	0.0	13.0
	女性40代	46	54.3	47.8	30.4	34.8	8.7	15.2	10.9	0.0	15.2
	女性50代	43	58.1	55.8	48.8	48.8	20.9	16.3	18.6	0.0	14.0
女性60代	64	35.9	45.3	42.2	28.1	14.1	9.4	15.6	0.0	21.9	
GE理解レベル	高レベル	25	52.0	40.0	36.0	32.0	20.0	12.0	16.0	0.0	20.0
	中レベル	144	50.0	46.5	41.0	34.7	17.4	15.3	12.5	0.0	19.4
	低レベル	231	49.8	44.2	32.0	34.2	11.3	9.1	9.5	0.0	19.9

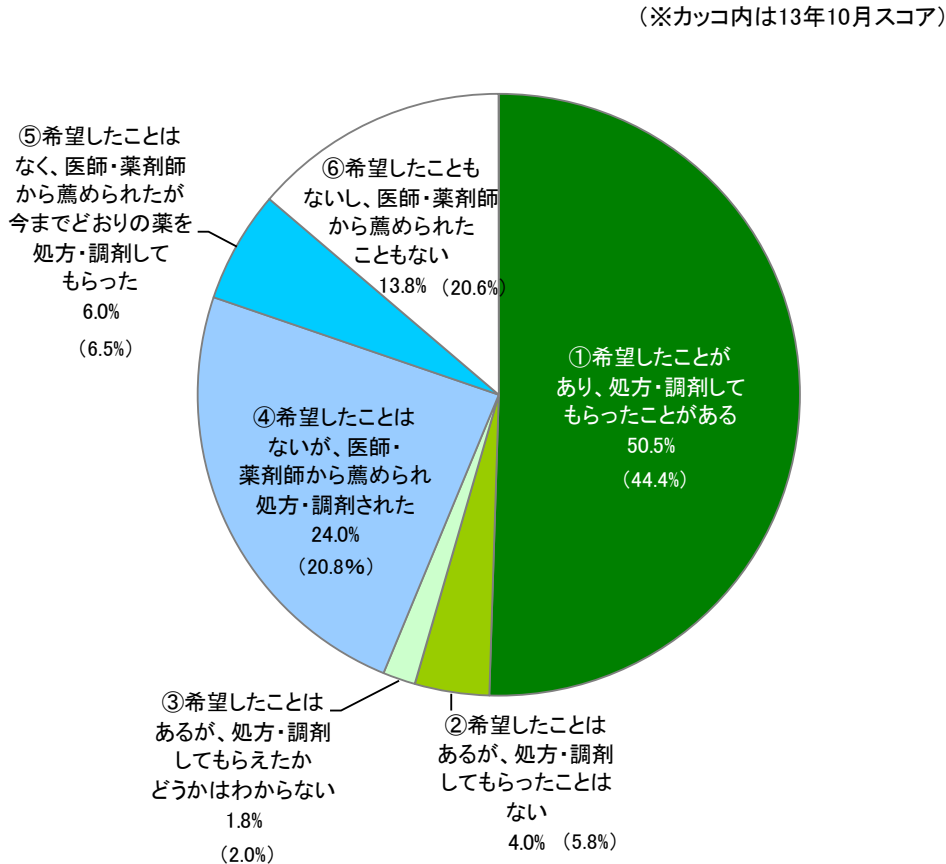
は全体より5pt以上。

は全体より5pt以下。

# ジェネリック医薬品 処方・調剤希望経験

## Q7. これまでに、医師や薬剤師に対して「ジェネリック医薬品を処方・調剤して欲しい」と希望したことはありますか？(SA)

処方・調剤希望計は56.3%、実際に処方されたことがある人は74.5%で、それぞれ13年10月より4.1pt、9.3ptの増加。処方・調剤希望計は、男性50～60代、女性50代で60%以上と高くなっている。



(%)	N	処方・調剤希望計 (①+②+③)	処方・調剤された計 (①+④)	処方・調剤を薦められた計 (①+④+⑤)	処方・調剤を薦められた計 (④+⑤)
全体(2011年11月)	400	28.8	45.8	50.8	29.3
全体(2012年10月)	398	39.2	54.3	60.8	28.6
全体(2013年10月)	399	52.1	65.2	71.7	27.3
全体(2014年10月)	400	56.3	74.5	80.5	30.0
14年10月-13年10月	スコア差	+4.1	+9.3	+8.8	+2.7

[2014年10月 属性別]

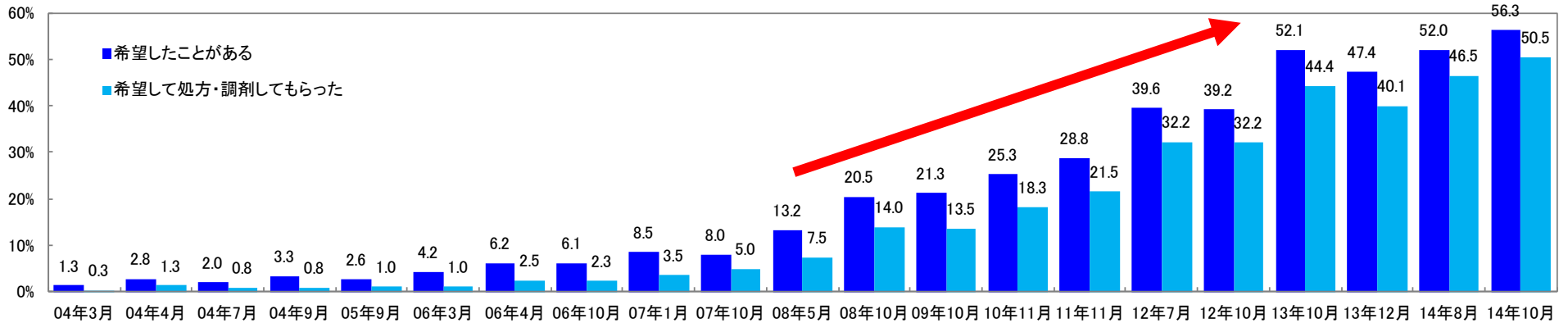
	N	処方・調剤希望計	処方・調剤された計	処方・調剤を薦められた計	処方・調剤を薦められた計
男性30代	40	55.0	75.0	75.0	25.0
男性40代	43	46.5	67.4	79.1	37.2
男性50代	45	62.2	75.6	75.6	28.9
男性60代	73	63.0	74.0	82.2	23.3
女性30代	46	58.7	71.7	78.3	28.3
女性40代	46	58.7	82.6	87.0	32.6
女性50代	43	60.5	81.4	90.7	32.6
女性60代	64	45.3	70.3	76.6	34.4
高レベル	25	72.0	80.0	84.0	12.0
中レベル	144	60.4	81.3	86.1	31.9
低レベル	231	51.9	69.7	76.6	30.7

# ジェネリック医薬品 処方・調剤希望経験

## Q7. これまでに、医師や薬剤師に対して「ジェネリック医薬品を処方・調剤して欲しい」と希望したことはありますか？(SA)

ジェネリック医薬品の「処方・調剤希望」は56.3%、「希望して処方・調剤経験」は50.5%で、ともに過去最高のスコアとなった。患者の自発的な処方希望の結果、処方経験は順調に伸びている様子。

※08年10月以降、対象者の割付が変更されているため、08年05月以前の時系列比較は参考



(%)	N	希望して処方・調剤してもらった											
		04年9月	05年9月	06年10月	07年10月	08年10月	09年10月	10年11月	11年11月	12年10月	13年10月	14年10月	
全体	400	0.8	1.0	2.3	5.0	14.0	13.5	18.3	21.5	32.2	44.4	50.5	
男性30代	40	0.5	1.9	0.0	2.0	21.1	15.9	20.0	25.0	37.5	52.5	50.0	
男性40代	43	0.3	3.8	2.0	0.0	16.7	22.5	19.0	15.9	34.1	36.4	41.9	
男性50代	45	0.0	0.0	6.0	4.0	20.0	10.4	27.7	29.2	45.8	54.2	46.7	
男性60代	73	0.0	0.0	0.0	8.0	15.8	19.7	21.0	28.4	34.8	53.7	58.9	
女性30代	46	0.0	0.0	0.0	10.0	3.5	7.5	11.1	16.3	25.0	42.9	50.0	
女性40代	46	0.0	1.9	2.0	4.0	4.5	9.3	12.2	25.5	25.5	40.4	54.3	
女性50代	43	0.0	0.0	2.0	6.0	15.8	6.1	18.8	19.2	25.0	31.4	58.1	
女性60代	64	0.0	0.0	6.0	6.0	16.4	16.1	16.4	11.3	30.2	41.5	42.2	

※N数は2014年10月 前回調査より5pt以上アップ

希望したが処方・調剤なしor不明													
04年9月	05年9月	06年10月	07年10月	08年10月	09年10月	10年11月	11年11月	12年10月	13年10月	14年10月			
2.5	1.7	3.8	3.0	6.5	7.8	7.0	7.3	7.0	7.8	5.8			
0.0	1.9	6.0	2.0	10.5	13.6	4.4	5.0	7.5	5.0	5.0			
0.3	3.8	4.0	4.0	8.3	10.0	4.8	2.3	6.8	4.5	4.7			
0.3	0.0	0.0	6.0	8.0	6.3	4.3	6.3	4.2	2.1	15.6			
1.5	5.8	10.0	4.0	7.0	4.9	8.1	11.9	7.6	7.5	4.1			
0.0	1.9	0.0	4.0	8.8	3.8	5.6	4.1	6.3	10.2	8.7			
0.0	0.0	4.0	0.0	6.8	4.7	7.3	4.3	4.3	6.4	4.3			
0.0	0.0	4.0	2.0	1.8	8.2	8.3	3.8	7.7	19.6	2.3			
0.5	0.0	2.0	2.0	3.3	11.3	11.5	17.0	11.3	5.7	3.1			

処方・調剤希望計													
04年9月	05年9月	06年10月	07年10月	08年10月	09年10月	10年11月	11年11月	12年10月	13年10月	14年10月			
3.3	2.6	6.1	8.0	20.5	21.3	25.3	28.8	39.2	52.1	56.3			
0.5	3.8	6.0	4.0	31.6	29.5	24.4	30.0	45.0	57.5	55.0			
0.5	7.7	6.0	4.0	25.0	32.5	23.8	18.2	40.9	40.9	46.5			
0.3	0.0	6.0	10.0	28.0	16.7	31.9	35.4	50.0	56.3	62.2			
1.5	5.8	10.0	12.0	22.8	24.6	29.0	40.3	42.4	61.2	63.0			
0.0	1.9	0.0	14.0	12.3	11.3	16.7	20.4	31.3	53.1	58.7			
0.0	1.9	6.0	4.0	11.4	14.0	19.5	29.8	29.8	46.8	58.7			
0.0	0.0	6.0	8.0	17.5	14.3	27.1	23.1	32.7	51.0	60.5			
0.5	0.0	8.0	8.0	19.7	27.4	27.9	28.3	41.5	47.2	45.3			

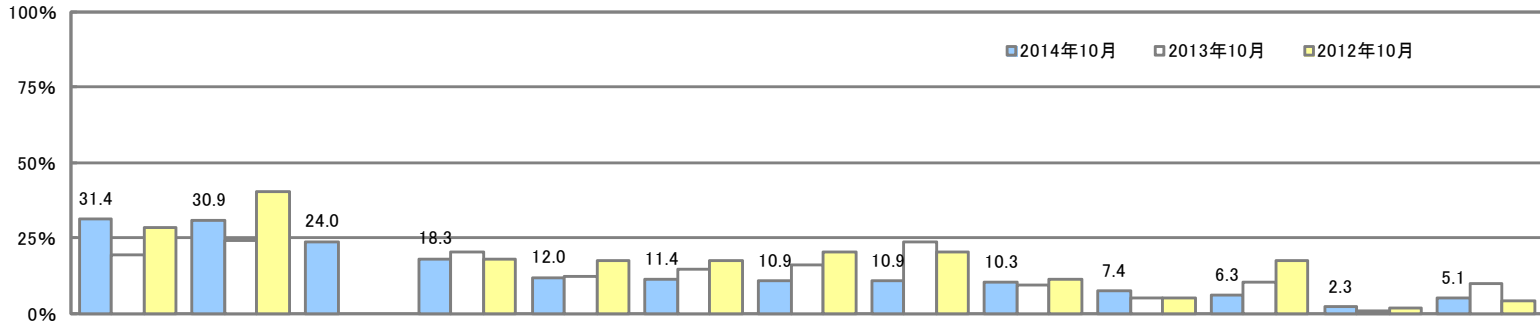
「処方希望計」=「頼んで処方してもらった」  
+「頼んだが処方してもらっていない」+「頼んだが処方してもらったかは不明」

# ジェネリック医薬品 処方希望しない理由

Q7で「希望したことはない」と回答された方へ

Q8.「ジェネリック医薬品」の処方・調剤を希望しない理由について、あてはまるものをすべてお選びください。(MA)

「自分の薬に対応するかわからないから」が31.4%でトップ。次いで「特に何も言われたいから」30.9%、「自分から希望しなくても、医師や薬剤師の方から薦めてくれる」(14年10月より追加)24.0%と続く。



(%)	N	自分の薬に対応するかわからないから	特に何も言われたいから	自分から希望しなくても、医師や薬剤師の方から薦めてくれるから	有効性・安全性・品質に不安を感じるから	医師に頼むべきなのかわからないから	医療機関で頼むタイミングがわからないから	何と云って頼めばいいかわからないから	今はそれほど薬代がかかっているから	病気で体調が悪い時に、ジェネリック医薬品のことには気が回らないから	変更しても薬代がそれほど安くないから	医師や薬剤師に頼むのは気がひけるから	待ち時間が長くなる	その他	
全体	2014年10月	175	31.4	30.9	24.0	18.3	12.0	11.4	10.9	10.9	10.3	7.4	6.3	2.3	5.1
	2013年10月	191	19.4	24.1		20.4	12.6	14.7	16.2	23.6	9.4	5.2	10.5	1.0	9.9
	2012年10月	242	28.5	40.5		18.2	17.8	17.8	20.2	20.2	11.6	5.0	17.4	1.7	4.1
性年代	男性30代	18	22.2	44.4	16.7	22.2	5.6	16.7	16.7	5.6	0.0	11.1	0.0	0.0	16.7
	男性40代	23	47.8	30.4	13.0	13.0	17.4	17.4	13.0	21.7	13.0	0.0	4.3	0.0	0.0
	男性50代	17	35.3	17.6	35.3	17.6	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	5.9	5.9
	男性60代	27	22.2	25.9	25.9	18.5	7.4	7.4	14.8	14.8	7.4	11.1	11.1	3.7	0.0
	女性30代	19	15.8	26.3	31.6	21.1	21.1	0.0	15.8	5.3	15.8	10.5	5.3	0.0	5.3
	女性40代	19	31.6	31.6	26.3	21.1	26.3	26.3	15.8	21.1	26.3	10.5	5.3	5.3	0.0
	女性50代	17	52.9	41.2	23.5	11.8	17.6	23.5	11.8	5.9	17.6	5.9	23.5	5.9	0.0
	女性60代	35	28.6	31.4	22.9	20.0	5.7	2.9	2.9	5.7	5.7	8.6	0.0	0.0	11.4
GE理解レベル	高レベル	7	42.9	28.6	0.0	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3
	中レベル	57	26.3	29.8	26.3	19.3	15.8	14.0	19.3	15.8	14.0	5.3	3.5	1.8	3.5
	低レベル	111	33.3	31.5	24.3	16.2	10.8	9.9	7.2	9.0	8.1	9.0	7.2	2.7	5.4

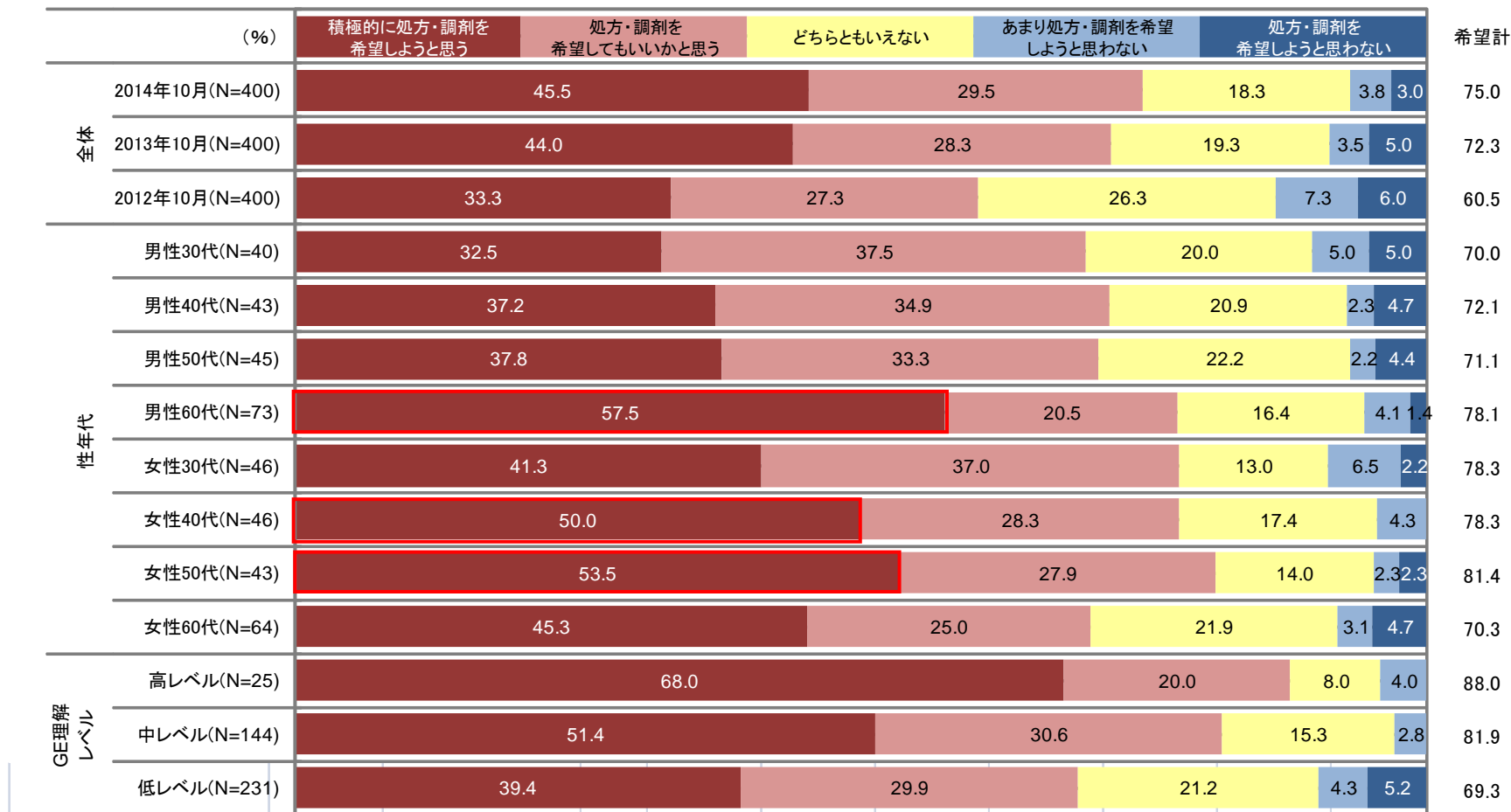
は全体より5pt以上。

は全体より5pt以下。



## Q9. 今後、ジェネリック医薬品の処方・調剤を医師や薬剤師に希望しようと思いませんか？(SA)

「積極的に処方・調剤を希望」は全体の45.5%で、13年10月より1.5pt増加。「希望してもいい」29.5%と合わせた希望計は75.0%だった。「積極的に処方・調剤を希望」は男性60代、女性40～50代で50%以上。



# 医療制度の認知

Q1で「知っている」「名前知っている」と回答された方へ

Q10. 以下の説明文をお読みになってお答えください。[呈示文] あなたはこのことをご存知でしたか。(SA)

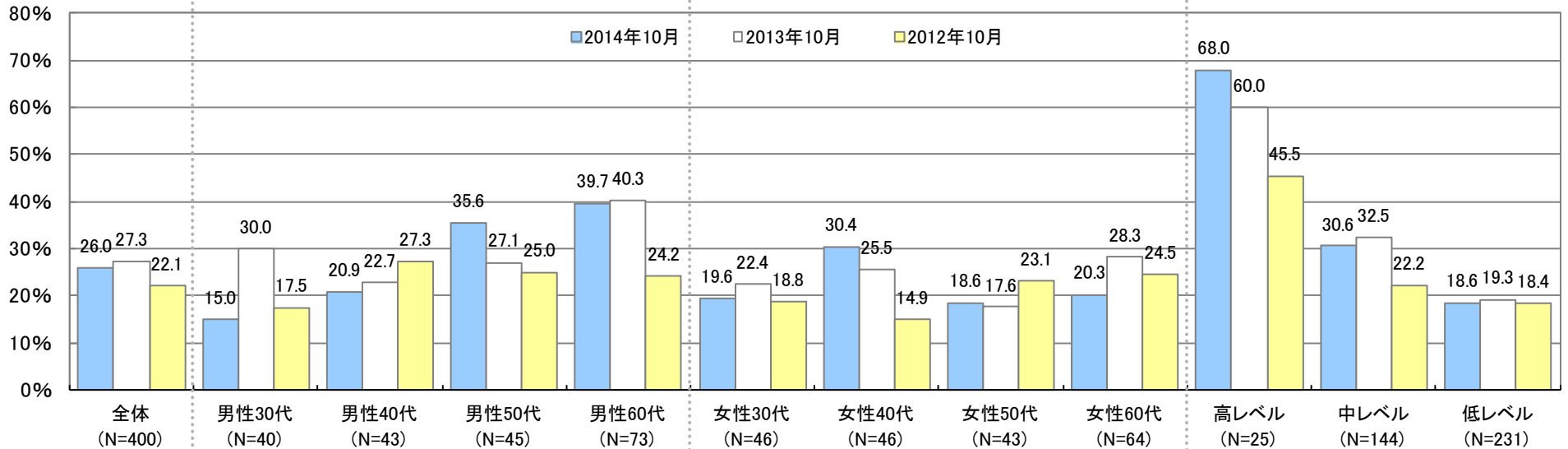
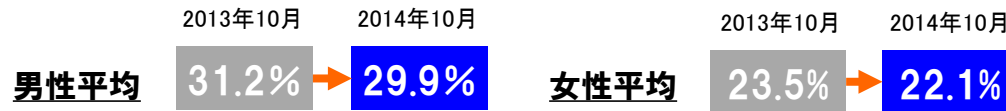
## 【呈示文】

病院・薬局で薬を処方してもらった際、受け取った処方せんに医師のサインがあっても「変更不可」欄にチェックがなければ、その薬を患者は薬剤師と相談して、ジェネリック医薬品に変更することができます。



「変更不可」欄に、「✓」または「×」がついていない薬は、医師のサインがあっても、ジェネリック医薬品に変更することができます。

制度の認知は全体の26.0%で、13年10月より1.3pt低下。男性50～60代、女性40代では30%以上と比較的高い。GE理解高レベル層では68.0%の認知。



\* N数は2014年10月調査

GE理解レベル

# ジェネリック医薬品についての説明状況

Q1で「知っている」「名前知っている」と回答された方へ

Q11. 最近、医療機関でお薬をもらう際、医師や薬剤師にジェネリック医薬品について説明されていますか。(SA)

「毎回説明されている」のは全体の19.5%で、「説明されないこともある」を含めた「説明される」計は74.3%だった。

	(%)	毎回説明されている	説明されないこともある	一度も説明されたことがない	説明される計
2014年10月(N=400)		19.5	54.8	25.8	74.3
性年代	男性30代(N=40)	20.0	50.0	30.0	70.0
	男性40代(N=43)	25.6	51.2	23.3	76.7
	男性50代(N=45)	15.6	62.2	22.2	77.8
	男性60代(N=73)	15.1	61.6	23.3	76.7
	女性30代(N=46)	23.9	43.5	32.6	67.4
	女性40代(N=46)	28.3	60.9	10.9	89.1
	女性50代(N=43)	14.0	60.5	25.6	74.4
	女性60代(N=64)	17.2	46.9	35.9	64.1
	GE理解レベル	高レベル(N=25)	32.0	44.0	24.0
中レベル(N=144)		24.3	53.5	22.2	77.8
低レベル(N=231)		15.2	56.7	28.1	71.9

## ジェネリック医薬品の使用・服用経験

Q1で「知っている」「名前は知っている」と回答された方へ

## Q12. 最近、実際にジェネリック医薬品を使用・服用したことはありますか？(MAマトリクス→SA)

「最近3ヶ月以内に服用計」は全体の51.0%、服用経験計は73.5%で、それぞれ13年10月より7.4pt、12.3pt増加。男女50～60代で「最近3ヶ月以内に服用計」が高く、50%以上となっている。

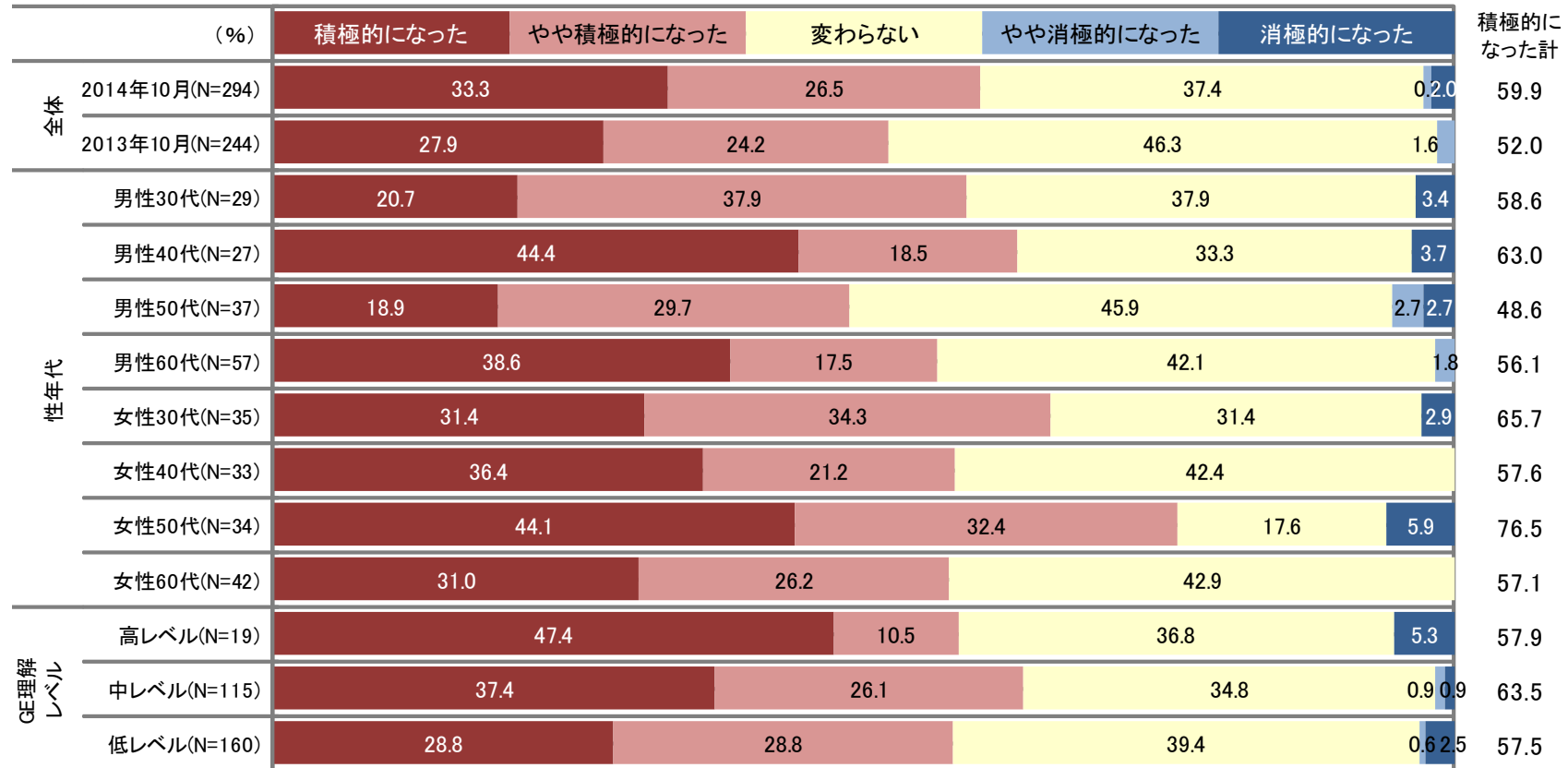
(%)		「3ヶ月以内に服用」のみ	「3ヶ月以内に服用」かつ「3ヶ月以上前に服用」	「3ヶ月以上前に服用」のみ	服用したことがない・覚えていない	3ヶ月服用計	服用経験あり計
全体	2014年10月(N=400)	46.0	5.0	22.5	26.5	51.0	73.5
	2013年10月(N=399)	39.6	4.0	17.5	38.8	43.6	61.2
性年代	男性30代(N=40)	35.0	2.5	35.0	27.5	37.5	72.5
	男性40代(N=43)	39.5	4.7	18.6	37.2	44.2	62.8
	男性50代(N=45)	53.3	13.3	15.6	17.8	66.7	82.2
	男性60代(N=73)	46.6	6.8	24.7	21.9	53.4	78.1
	女性30代(N=46)	41.3	2.2	32.6	23.9	43.5	76.1
	女性40代(N=46)	47.8		23.9	28.3	47.8	71.7
	女性50代(N=43)	58.1	2.3	18.6	20.9	60.5	79.1
	女性60代(N=64)	45.3	6.3	14.1	34.4	51.6	65.6
GE理解レベル	高レベル(N=25)	48.0	24.0	4.0	24.0	72.0	76.0
	中レベル(N=144)	51.4	2.8	25.7	20.1	54.2	79.9
	低レベル(N=231)	42.4	4.3	22.5	30.7	46.8	69.3

# ジェネリック医薬品使用・服用後の態度変容

Q12で「ジェネリック医薬品を使用・服用した」と回答された方へ

Q13. ジェネリック医薬品を実際に使用・服用してみたら、ジェネリック医薬品の使用・服用に対してどのように感じるようになりましたか。(SA)

ジェネリック医薬品を服用してみて、ジェネリック医薬品の使用に「積極的になった」のは全体の33.3%で、「やや積極的になった」と合わせた積極的になった計は59.9%。実際にジェネリック医薬品を使用した人は、ジェネリック医薬品の使用に対して積極的になる傾向がみられる。



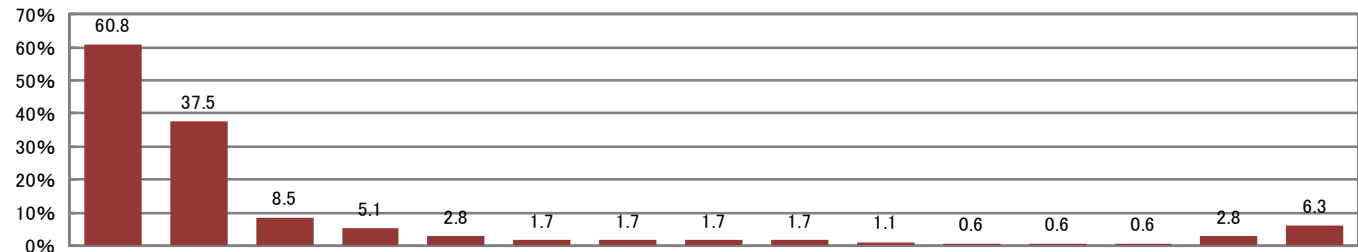
# 態度変容理由(FAアフターコーディング集計)(「積極的になった」)

Q12で「ジェネリック医薬品を使用・服用した」と回答された方へ

Q14. 前問で、あなたはジェネリック医薬品の使用・服用に対して【Q13の答え】とお答えになりましたが、あなたがそのように感じるようになった理由について、できるだけ詳しくお答えください。(FA)

ジェネリック医薬品の使用に積極的になった理由は「価格が安い／節約になる」が最も高く、60.8%。次いで「新薬と効果・成分は変わらないから」が37.5%で続く。

「積極的になった」  
「やや積極的になった」



	(%)	N	理由															
			価格が安いから	新薬と効果・成分は変わらないから	安心・安全だから	副作用がなかったから	ジェネリック医薬品が身近になったから	飲みやすくなったから	医師・薬剤師・組合等に奨められるから	医師・薬剤師と相談しているから	国・健康保険組合の医療費削減につながるから	以前からジェネリック医薬品の服用に積極的だったから	薬・症状に合わない薬もあるから	薬効・成分に疑問・不安を感じたから	信頼できないから／安全でないから	その他	特になし	
全体	全体	176	60.8	37.5	8.5	5.1	2.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.1	0.6	0.6	0.6	2.8	6.3	
性年代	男性30代	17	64.7	47.1	5.9	5.9	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	
	男性40代	17	82.4	29.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	
	男性50代	18	55.6	27.8	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	5.6	
	男性60代	32	71.9	37.5	3.1	6.3	0.0	0.0	0.0	3.1	6.3	3.1	0.0	0.0	0.0	3.1	6.3	
	女性30代	23	52.2	34.8	13.0	13.0	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7
	女性40代	19	52.6	31.6	10.5	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	10.5	5.3	
	女性50代	26	50.0	38.5	15.4	3.8	3.8	3.8	7.7	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8
	女性60代	24	58.3	50.0	16.7	8.3	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	8.3	
GE理解レベル	高レベル	11	72.7	27.3	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	中レベル	73	58.9	41.1	8.2	5.5	1.4	1.4	0.0	1.4	1.4	2.7	1.4	0.0	0.0	4.1	6.8	
	低レベル	92	60.9	35.9	8.7	4.3	4.3	2.2	2.2	2.2	2.2	0.0	0.0	1.1	1.1	2.2	6.5	

は全体より5pt以上。 是全体より5pt以下。

# 態度変容理由(FAアフターコーディング集計)(「変わらない」「消極的になった」)

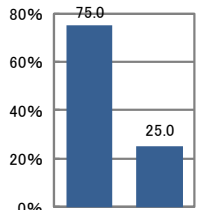
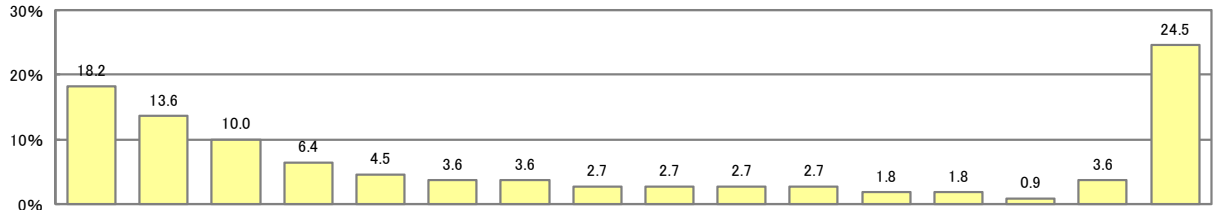
Q12で「ジェネリック医薬品を使用・服用した」と回答された方へ

Q14. 前問で、あなたはジェネリック医薬品の使用・服用に対して【Q13の答え】とお答えになりましたが、あなたがそのように感じるようになった理由について、できるだけ詳しくお答えください。(FA)

ジェネリック医薬品の使用意向が「変わらない」理由は、「以前からジェネリック医薬品の服用に積極的だったから」が18.2%で最も高く、次いで「新薬と効果・成分は変わらないから」13.6%、「ジェネリック医薬品か新薬かを意識していないから」10.0%と続いている。

「変わらない」

「消極的になった」  
「やや消極的になった」



	(%)	N	理由																
			以前からジェネリック医薬品の服用に積極的だったから	新薬と効果・成分は変わらないから	ジェネリック医薬品か新薬かを意識していないから	医師・薬剤師に任せているから	副作用がなかったから	よくわからない／知識が無い	薬効・成分に疑問・不安を感じたから	薬を服用する機会自体が少ないから	新薬と比較したことがないから	信賴できないから	／安全でないから	／抵抗があるから	／価格が安いから	／経済的だから	／対応していないから	／薬・症状によるから	／詳しい説明があつたから
全体	全体	110	18.2	13.6	10.0	6.4	4.5	3.6	3.6	2.7	2.7	2.7	2.7	1.8	1.8	0.9	3.6	24.5	
性年代	男性30代	11	18.2	0.0	9.1	9.1	9.1	18.2	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	27.3	
	男性40代	9	0.0	22.2	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	
	男性50代	17	5.9	17.6	5.9	5.9	5.9	0.0	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	29.4	
	男性60代	24	20.8	12.5	12.5	4.2	8.3	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	
	女性30代	11	27.3	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2	
	女性40代	14	21.4	14.3	14.3	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0	14.3	
	女性50代	6	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	
女性60代	18	27.8	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	11.1		
GE理解レベル	高レベル	7	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	
	中レベル	40	27.5	12.5	5.0	7.5	5.0	5.0	5.0	0.0	5.0	0.0	2.5	0.0	2.5	0.0	2.5	27.5	
	低レベル	63	9.5	12.7	14.3	6.3	4.8	3.2	3.2	4.8	1.6	4.8	3.2	1.6	1.6	1.6	4.8	23.8	

	(%)	N	理由	
			信賴できないから	／安全でないから
全体	全体	8	75.0	25.0
性年代	男性30代	1	100.0	0.0
	男性40代	1	100.0	0.0
	男性50代	2	50.0	50.0
	男性60代	1	100.0	0.0
	女性30代	1	0.0	100.0
	女性40代	0	0.0	0.0
	女性50代	2	100.0	0.0
GE理解レベル	高レベル	1	0.0	100.0
	中レベル	2	50.0	50.0
	低レベル	5	100.0	0.0

は全体より5pt以上。

は全体より5pt以下。



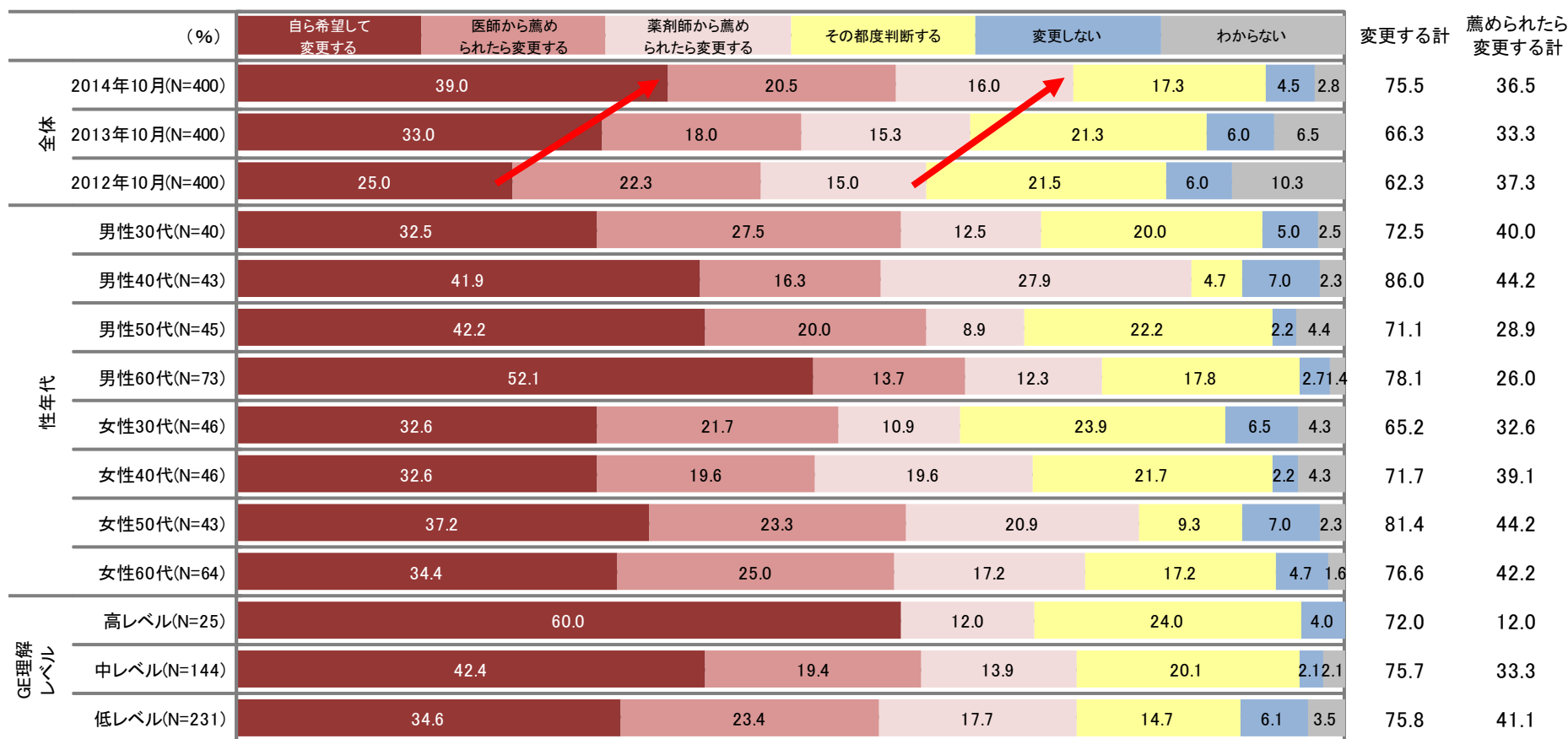


# ジェネリック医薬品への変更意向

Q1で「知っている」「名前知っている」と回答された方へ

Q15. 今後、医療機関でお薬をもらう際、ジェネリック医薬品へ変更したいと思いますか。(SA)

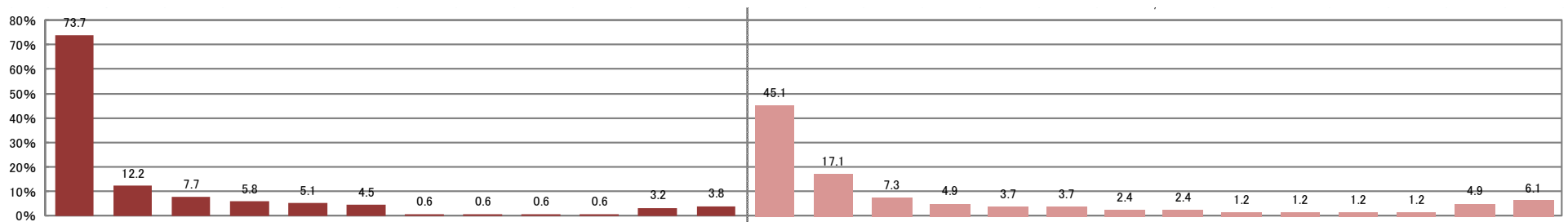
「自ら希望して変更する」とした人が全体の39.0%で、13年10月調査より6.0pt増加した。  
 医師・薬剤師に「薦められたら変更する」計は36.5%で、以上を合わせた変更意向計は75.5%となり、  
 こちらも13年10月より9.2pt増加している。



# 今後のジェネリック医薬品変更意向理由① (FAアフターコーディング集計)

Q16. 前問で【Q15の答え】とお答えになった理由をご自由にお書きください。(FA)

「自ら希望して変更する」人の理由で最も高いのは、「価格が安い／節約のため」で73.7%、  
「医者から薦められたら変更」では「プロである医師・薬剤師の判断なら安心・信頼できるから」が45.1%でトップ。

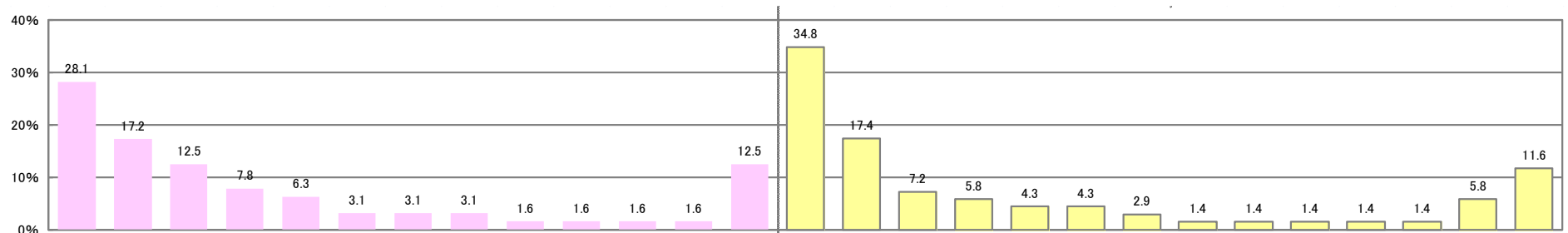


(%)	N	自分から希望して変更する(156名)													医師から薦められたら変更する(82名)													N
		価格が安い／節約のため	薬効・成分は変わらない	安心・安全だから／信頼できるから／抵抗がなくなったから	国・保険組合等の医療費削減につながるから	自分から希望しないから	以前からジェネリック医薬品を希望・服用しているから	医師より薬剤師になら相談しやすいから	プロである医師・薬剤師の判断なら安心・信頼できるから	薬・症状など状況による／対応しない薬もあるから	薬効に疑問・不安を感じるから	その他	特になし	プロである医師・薬剤師の判断なら安心・信頼できるから	自分では判断できないから	自分では変更を希望しづらいから／面倒だから	安心・安全だから／信頼できるから／抵抗がなくなったから	自分から言わなくても医師・薬剤師の方から薦めてくれるから	薬効に疑問・不安を感じるから	価格が安い／節約のため	薬剤師より医師になら相談しやすいから	医師・薬剤師に相談して説明を受けたから	薬代がそれほど変わらない／から	信用できないから／不安があるから	継続して服用している薬があるから	その他	特になし	
全体	156	73.7	12.2	7.7	5.8	5.1	4.5	0.6	0.6	0.6	0.6	3.2	3.8	45.1	17.1	7.3	4.9	3.7	3.7	2.4	2.4	1.2	1.2	1.2	1.2	4.9	6.1	82
男性30代	13	84.6	15.4	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4	36.4	18.2	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11
男性40代	18	77.8	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	7
男性50代	19	73.7	5.3	10.5	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	5.3	44.4	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	9
男性60代	38	68.4	15.8	10.5	10.5	2.6	7.9	0.0	2.6	0.0	5.3	5.3	5.3	40.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10
女性30代	15	86.7	20.0	13.3	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	50.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10
女性40代	15	60.0	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	9
女性50代	16	68.8	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	6.3	6.3	60.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	10
女性60代	22	77.3	18.2	9.1	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	43.8	12.5	0.0	6.3	12.5	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3	16
高レベル	15	73.3	26.7	20.0	6.7	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
中レベル	61	73.8	11.5	9.8	6.6	6.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3	42.9	21.4	7.1	3.6	7.1	0.0	0.0	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	28
低レベル	80	73.8	10.0	3.8	5.0	5.0	6.3	0.0	1.3	1.3	3.8	5.0	5.0	46.3	14.8	7.4	5.6	1.9	5.6	3.7	1.9	0.0	1.9	1.9	1.9	3.7	5.6	54

# 今後のジェネリック医薬品変更意向理由② (FAアフターコーディング集計)

Q16. 前問で【Q15で回答した選択肢】とお答えになった理由をご自由にお書きください。(FA)

「薬剤師から薦められたら変更」では「プロである医師・薬剤師の判断なら安心・信頼できる」が28.1%でトップ。  
 「その都度判断する」理由は、「薬・症状など状況による／対応しない薬もあるから」34.8%が最も多い。

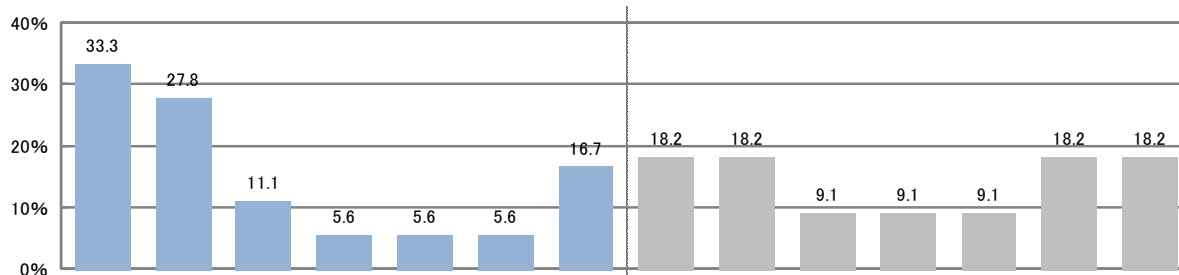


(%)	N	薬剤師から薦められたら変更する(64名)													その都度判断する(69名)													N			
		プロである医師・薬剤師の判断なら安心・信頼できるから	自分では判断できないから	医師より薬剤師になら相談しやすいから	自分では変更を希望しづらいから	薬剤師の方から薦めてくれるから	価格が安い／節約のため	医師・薬剤師の方針に反したくない／信頼関係を保ちたいから	医師・薬剤師に相談して説明を受けたいから	安心・安全だから／信頼できるから	薬効に疑問・不安を感じるから	こだわりがない	その他	特になし	薬・症状など状況による／対応しない薬もあるから	薬効に疑問・不安を感じるから	から／安全でないから／不安がある	信用できないから／不安がある	価格がそれほど変わらないから	医師・薬剤師の方針に反したくないから	自分では判断できないから	継続して服用している薬があるから	安心・安全だから／信頼できるから	以前からジェネリック医薬品を希望・服用しているから	プロである医師・薬剤師の判断なら安心・信頼できるから	自分では変更を希望しづらいから	こだわりがない		その他	特になし	
全体	64	28.1	17.2	12.5	7.8	6.3	3.1	3.1	3.1	1.6	1.6	1.6	1.6	12.5	34.8	17.4	7.2	5.8	4.3	4.3	2.9	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	5.8	11.6	69
男性30代	5	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	8
男性40代	12	33.3	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
男性50代	4	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10	
男性60代	9	22.2	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	15.4	7.7	23.1	7.7	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	13	
女性30代	5	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	54.5	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	11	
女性40代	9	11.1	33.3	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	30.0	10	
女性50代	9	11.1	11.1	22.2	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4	
女性60代	11	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4	27.3	0.0	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2	0.0	11	
高レベル	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	6	
中レベル	20	30.0	10.0	25.0	0.0	15.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0	27.6	13.8	13.8	6.9	10.3	0.0	3.4	3.4	0.0	3.4	0.0	0.0	3.4	0.0	3.4	13.8	29	
低レベル	41	29.3	17.1	7.3	12.2	2.4	2.4	4.9	4.9	0.0	0.0	2.4	14.6	38.2	23.5	2.9	5.9	0.0	8.8	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	8.8	8.8	34	

# 今後のジェネリック医薬品変更意向理由③ (FAアフターコーディング集計)

Q16. 前問で【「Q15で回答した選択肢」とお答えになった理由をご自由にお書きください。(FA)

「変更しない」理由は、「信用できないから／不安があるから」33.3%、「薬効に疑問・不安を感じる」27.8%。「分からない」では、「プロである医師・薬剤師の判断なら安心・信頼」「薬・症状など状況による等」など。

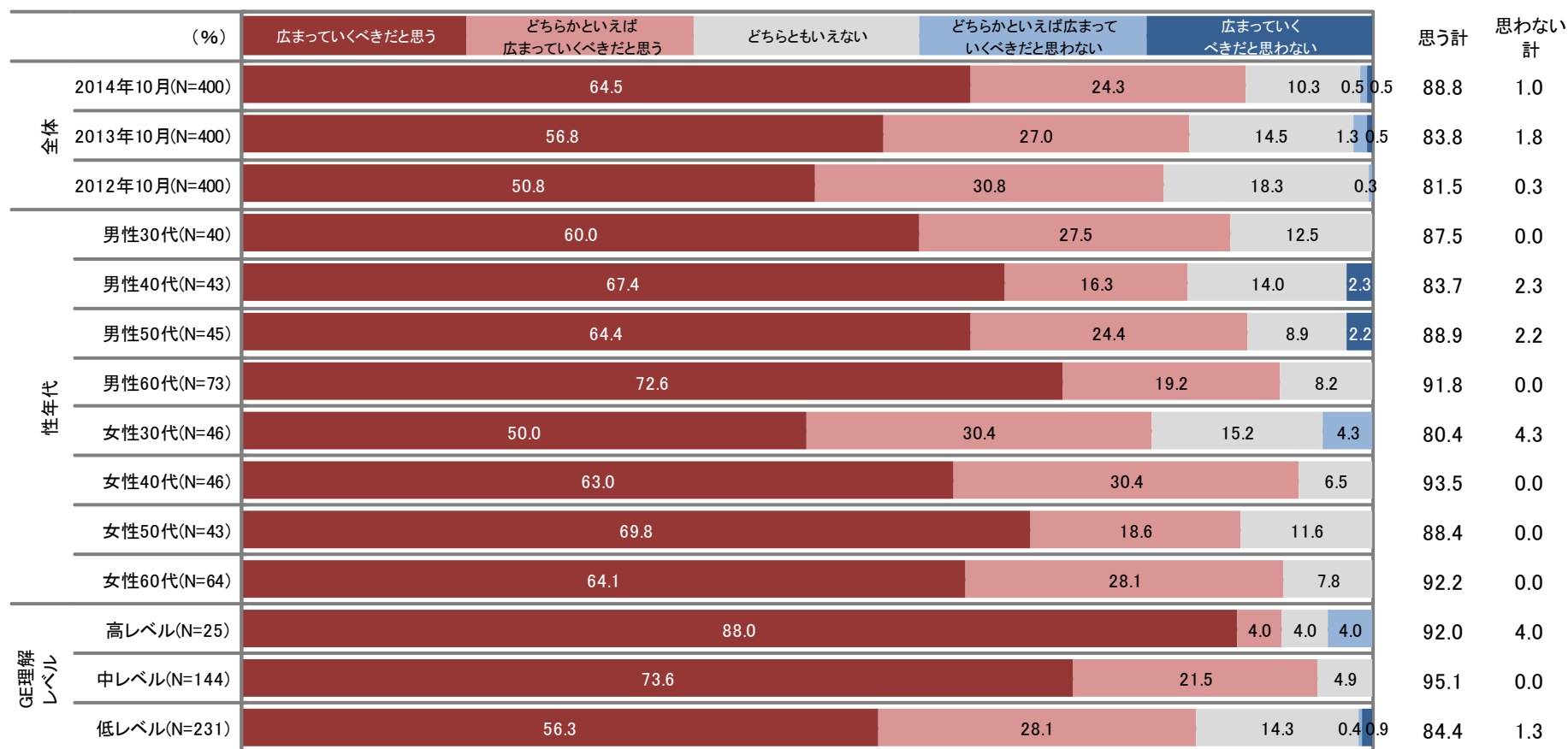



理由	変更しない(18名)							分からない(11名)							N
	信用できないから 不安があるから	薬効に疑問・不安を感じるから	継続して服用している薬があるから	価格がそれほど負担ではないから	自分では判断できないから	こだわりがない	特になし	プロである医師・薬剤師の判断なら安心・信頼できるから	薬・症状など状況による 対応しない薬もあるから	説明を受けたから 医師・薬剤師に相談して	信用できないから 不安があるから	自分では変更を希望しづらいから	その他	特になし	
全体	33.3	27.8	11.1	5.6	5.6	5.6	16.7	18.2	18.2	9.1	9.1	9.1	18.2	18.2	11
男性30代	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	1
男性40代	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
男性50代	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	2
男性60代	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	1
女性30代	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
女性40代	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
女性50代	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	1
女性60代	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
高レベル	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
中レベル	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	3
低レベル	35.7	28.6	7.1	7.1	7.1	7.1	14.3	12.5	25.0	12.5	12.5	0.0	25.0	12.5	8

# 今後ジェネリック医薬品が世の中に広まっていくべきか

Q17. ジェネリック医薬品が、国民医療費の節減や患者負担の軽減(お薬代が安くなる)に寄与することを踏まえ、あなたご自身のお考えとしてお答えください。今後ジェネリック医薬品はよりいっそう世の中に広まっていくべきだと思いますか？(SA)

「広まっていくべきだと思う」は全体の64.5%で、13年10月より7.7pt増加。「どちらかといえば広まっていくべき」を合わせた「広まっていくべきだと思う計」は88.8%で、こちらも13年10月より5.0pt増加している。





**【ジェネリック医薬品 定点調査】**  
**医師におけるジェネリック医薬品への意識**  
**2014年10月 医師調査**

2015年1月6日

**沢井製薬株式会社**

ジェネリック医薬品に関する意識から採用・調剤状況などを時系列で分析する。

## 医師調査

調査対象： 全国の30～60代男女の医師 450名

サンプル構成：

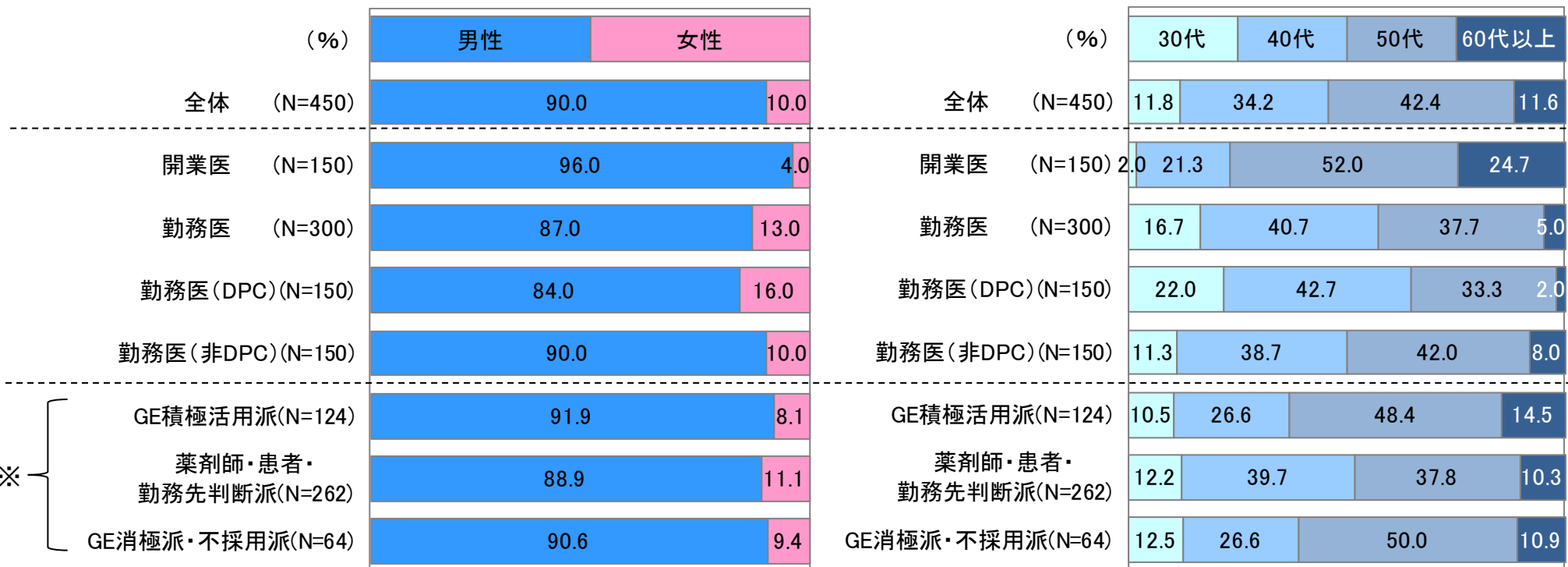
			男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代～	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代～	合計
勤務 区分	開業医	全体	3	30	74	37	0	2	4	0	150
	勤務医	全体	34	105	107	15	16	17	6	0	300
		DPC	20	55	48	3	13	9	2	0	150
		非DPC	14	50	59	12	3	8	4	0	150
合計			37	135	181	52	16	19	10	0	450

調査項目： ・「ジェネリック医薬品」の認知  
 ・「変更不可」の処方せん割合  
 ・患者さんにジェネリック医薬品について説明する際の最近の状況 など

調査手法： インターネット調査（調査機関：楽天リサーチ）

調査期間： 2014年10月24日（金）～26日（日）





※Q2 「ジェネリック医薬品の使用方針」より分類

- GE積極活用派・・・「積極的に活用している」と回答した方
- 薬剤師・患者・勤務先判断派・・・「薬剤師の判断に委ねている」「患者さんの判断に委ねている」「勤め先の方針に従っている」と回答した方
- GE消極派・不採用派・・・「積極的には活用していない」「活用していない」と回答した方

- Q1. 「ジェネリック医薬品」についてご存知の事柄をすべてお選びください。(MA)
- Q2. ジェネリック医薬品の処方について、あなたのお考えを教えてください。(SA)
- Q3. (Q2で「積極的には活用していない」「活用していない」と回答された方へ)  
ジェネリック医薬品を「積極的には活用していない」、あるいは「活用していない」理由をすべてお選びください。(MA)
- Q4. 最近1ヶ月以内に発行した処方せんにおいて、ジェネリック医薬品への「変更不可」欄にチェックした医薬品の割合はどの程度ですか。(SA)
- Q5. (Q4で「全くない」「わからない」以外を選択された方へ)  
ジェネリック医薬品への「変更不可」欄にチェックした理由は何でしょうか。あてはまるものをすべてお選びください。(MA)
- Q6. (Q2でジェネリック医薬品を「活用していない」以外を回答された方へ)  
患者さんにジェネリック医薬品について説明する際の、最近の状況として最もあてはまるものをお答えください。(SA)
- Q7. (Q6で「自ら積極的には説明しないし、患者さんに尋ねられて説明することもなるべく避けたい」と回答された方へ)  
前問で「患者さんに対してジェネリック医薬品について積極的には説明しないし、患者さんに尋ねられても説明することもなるべく避けたい」とお答えになりましたが、それはなぜですか。できるだけ詳しくお答えください。(FA)
- Q8. (Q2で「活用していない」以外を選択された方へ)  
ジェネリック医薬品を処方する際に、下記の項目をどの程度重視しますか？(5段階SAマトリクス)
- Q9. ジェネリック医薬品が、国民医療費の節減や患者負担の軽減に寄与することを踏まえ、あなたご自身のお考えとしてお答えください。  
今後ジェネリック医薬品はよりいっそう世の中に広まっていくべきだと思いますか。(SA)
- Q10. 今後、あなたご自身がジェネリック医薬品をいま以上に信頼し、積極的に活用するようになるためには、どのようなことが必要ですか？(MA)

※SA：単一回答

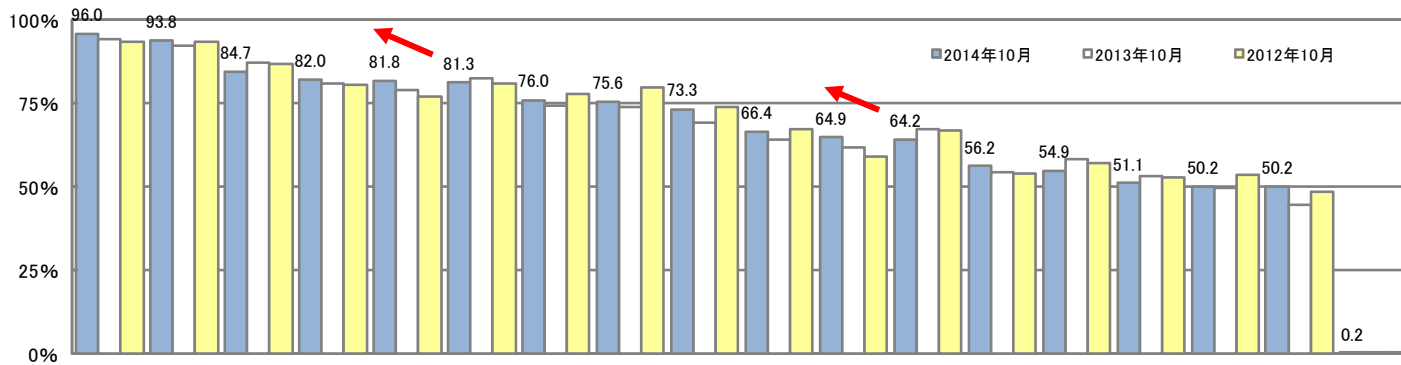
※MA：複数回答

※FA：自由回答

# ジェネリック医薬品 特徴認知

Q1.「ジェネリック医薬品」についてご存知の事柄をすべてお選び下さい。(MA)

上位項目の認知は高止まり傾向だが、「一般名で処方可能」「製剤工夫がされている」はやや上昇傾向。開業医で「新薬と同じ主成分・効き目」のスコアが低く、勤務医(DPC)で「製剤工夫がされている」のスコアが低いなど、勤務形態によってスコア差のある項目も見られた。



(%)	N	新薬の特許期間満了後に発売される薬	医療用医薬品である	薬価は新薬の2/3割(※)	「変更不可」チェックが薬剤師と相談しGEに変更可	一般名で処方することが可能である	安くおさえられているためである	薬価が安いのは、研究費が軽減につながる	患者個人の自己負担額の軽減につながる	錠剤、注射剤・点眼剤・貼付剤など様々な剤形で展開	国全体の医療費削減につながる	新薬と同じ主成分・同等の効き目・品質	製剤工夫がされているものもある	薬を飲みやすいように、製剤工夫がされているものもある	生活習慣病治療剤・抗がん剤など様々な薬効で展開されている	財政健全化につながる	健康保険組合の	有効性・安全性を確認	生物学的同等性試験及び溶出試験により、試験及び使用されている(※)	日本ではまだ約45%程度しかない	シニア医療用医薬品の約70%	欧米諸国では約60%	引上げて目標として	国の方針として平成30年度まで	ひとつも知らない		
全体	2014年10月	450	96.0	93.8	84.7	82.0	81.8	81.3	76.0	75.6	73.3	66.4	64.9	64.2	56.2	54.9	51.1	50.2	50.2	50.2	50.2	0.2					
	2013年10月	450	94.4	92.4	87.1	81.1	78.9	82.7	74.2	74.0	69.1	64.0	61.8	67.1	54.2	58.4	53.1	49.8	44.7	44.7	44.7	0.4					
	2012年10月	300	93.7	93.7	86.7	80.7	77.0	81.0	78.0	80.0	74.0	67.3	59.0	67.0	54.0	57.3	52.7	53.7	48.7	48.7	48.7	0.3					
勤務区分	開業医	150	96.0	91.3	86.7	82.7	85.3	82.0	73.3	78.0	71.3	54.7	64.7	61.3	59.3	56.7	58.0	58.0	57.3	57.3	57.3	0.0					
	勤務医	300	96.0	95.0	83.7	81.7	80.0	81.0	77.3	74.3	74.3	72.3	65.0	65.7	54.7	54.0	47.7	46.3	46.7	46.7	46.7	0.3					
	勤務医(DPC)	150	96.0	95.3	82.7	82.7	78.7	80.7	74.7	72.7	74.7	72.7	58.0	65.3	52.0	50.7	46.0	44.0	46.0	46.0	46.0	0.7					
	勤務医(非DPC)	150	96.0	94.7	84.7	80.7	81.3	81.3	80.0	76.0	74.0	72.0	72.0	66.0	57.3	57.3	49.3	48.7	47.3	47.3	47.3	0.0					
GE活用方針	GE積極活用派	124	97.6	93.5	89.5	79.8	81.5	84.7	83.1	76.6	81.5	77.4	68.5	63.7	66.1	60.5	54.0	53.2	49.2	49.2	49.2	0.0					
	薬剤師・患者・勤務先判断派	262	95.8	93.5	84.7	83.6	82.8	81.7	76.0	76.0	73.7	67.9	66.4	67.2	55.7	52.7	51.9	50.4	52.3	52.3	52.3	0.4					
	GE消極派・不採用派	64	93.8	95.3	75.0	79.7	78.1	73.4	62.5	71.9	56.3	39.1	51.6	53.1	39.1	53.1	42.2	43.8	43.8	43.8	43.8	0.0					

(※)2013年調査と一部文章内容を変更(数値更新)

は全体より10pt以上。

は全体より10pt以下。

## ジェネリック医薬品 使用方針

## Q2. ジェネリック医薬品の処方について、あなたのお考えを教えてください。(SA)

「積極的に活用している」27.6%、「委ねる計」(=「薬剤師に委ねる」+「患者に委ねる」+「勤め先の方針に従う」)58.2%、「消極派・不採用派」(=「積極的には活用していない」+「活用していない」)14.2%と、「委ねる」層の多さが顕著。今回調査より追加した「勤め先の方針に従っている」は勤務医全体の31.3%を占めている。

※選択肢「勤め先の方針に従っている」は2014年10月調査より追加。(勤務医のみ)

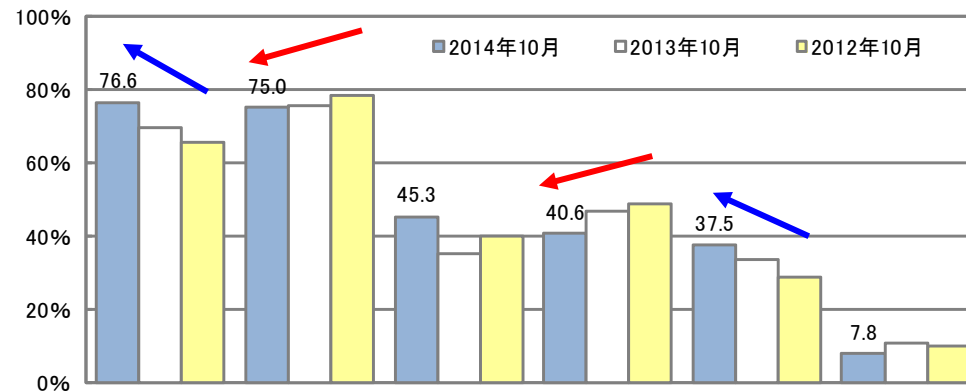
	(%)	活用状況						積極派	委ねる計	消極派+ 不採用派
		積極的に活用している	薬剤師の判断に委ねている	患者の判断に委ねている	勤め先の方針に従っている	積極的には活用していない	活用していない			
全体	2014年10月(N=450)	27.6	7.1	30.2	20.9	11.8	2.4	27.6	58.2	14.2
	2013年10月(N=450)	28.7	10.2	34.0	23.6	3.6		28.7	44.2	27.1
	2012年10月(N=300)	32.3	9.7	34.7	21.0	2.3		32.3	44.3	23.3
勤務区分	開業医 (N=150)	38.0	8.7	37.3	13.3	2.7		38.0	46.0	16.0
	勤務医 (N=300)	22.3	6.3	26.7	31.3	11.0	2.3	22.3	64.3	13.3
	勤務医(DPC) (N=150)	19.3	2.7	30.7	34.0	10.7	2.7	19.3	67.3	13.3
	勤務医(非DPC) (N=150)	25.3	10.0	22.7	28.7	11.3	2.0	25.3	61.3	13.3

# ジェネリック医薬品を積極的に処方しない理由

Q2でジェネリック医薬品を「積極的に活用していない」、  
「活用していない」と回答された方へ

Q3. ジェネリック医薬品を「積極的に活用していない」、あるいは「活用していない」理由をすべてお選びください。(MA)

ジェネリック医薬品の活用に消極的な理由としては、「有効性・安全性に対して疑問・不安」76.6%、「品質に対して疑問・不安」75.0%が多くなっている。「有効性・安全性に対して疑問・不安」「安定供給体制に不安」が上昇傾向、「品質に対して疑問・不安」「情報提供体制に不安」のスコアは減少傾向にある。



	2014年10月	N	疑問・有効性・安全性に対して感じるから	品質に対して感じるから	有効性・安全性に対して感じるから	情報提供体制に不安を感じるから	安定供給体制に不安を感じるから	その他
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	2014年10月	64	76.6	75.0	45.3	40.6	37.5	7.8
	2013年10月	122	69.7	75.4	35.2	46.7	33.6	10.7
	2012年10月	70	65.7	78.6	40.0	48.6	28.6	10.0
勤務区分	開業医	24	87.5	75.0	33.3	45.8	62.5	4.2
	勤務医	40	70.0	75.0	52.5	37.5	22.5	10.0
	勤務医(DPC)	20	65.0	75.0	35.0	40.0	20.0	15.0
	勤務医(非DPC)	20	75.0	75.0	70.0	35.0	25.0	5.0

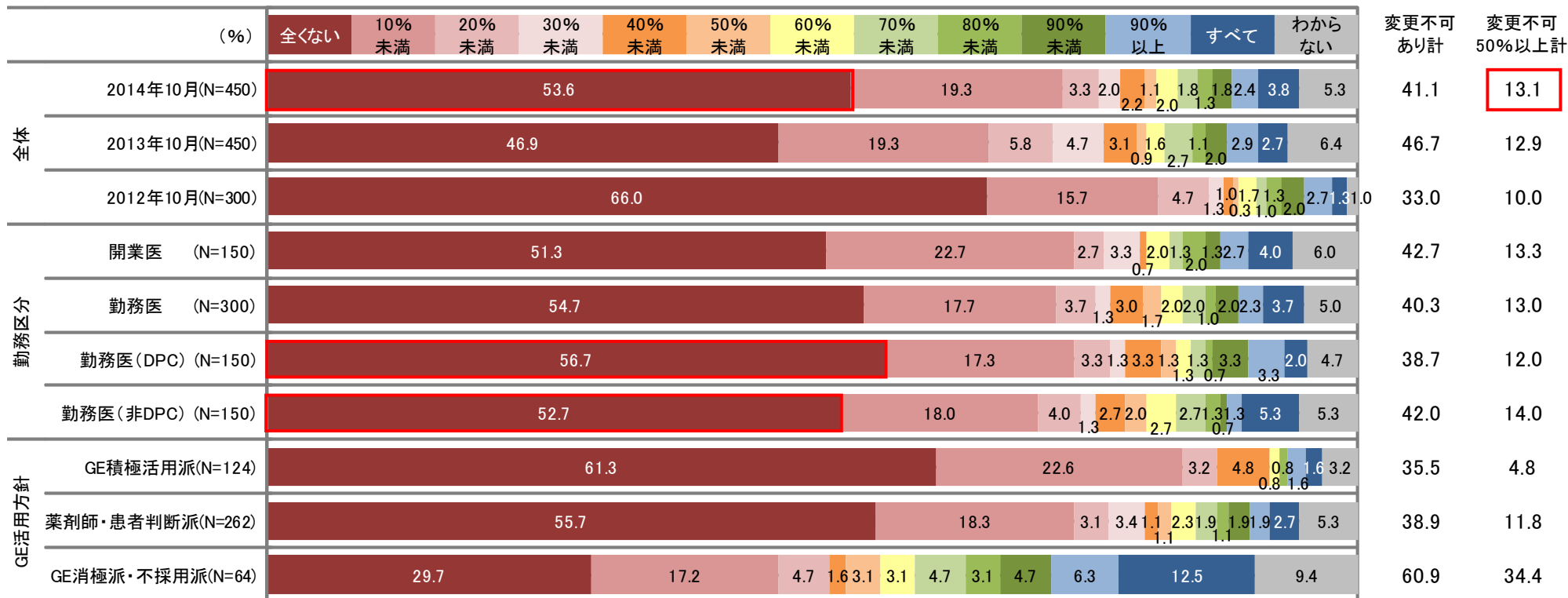
は全体より10pt以上。

は全体より10pt以下。

# ジェネリック医薬品 変更不可医薬品割合

Q4. 最近1ヶ月以内に発行した処方せんにおいて、ジェネリック医薬品への「変更不可」欄にチェックした医薬品の割合はどの程度ですか？(SA)

変更不可が「全くない」のは全体の53.6%で13年10月より6.7pt増加。「50%以上計」は13.1%で13年10月と同程度。DPCと非DPCを比較すると、変更不可が「全くない」が勤務医(DPC)で56.7%、勤務医(非DPC)で52.7%となっており、DPC病院勤務の方がややジェネリック医薬品の使用に寛容な様子。

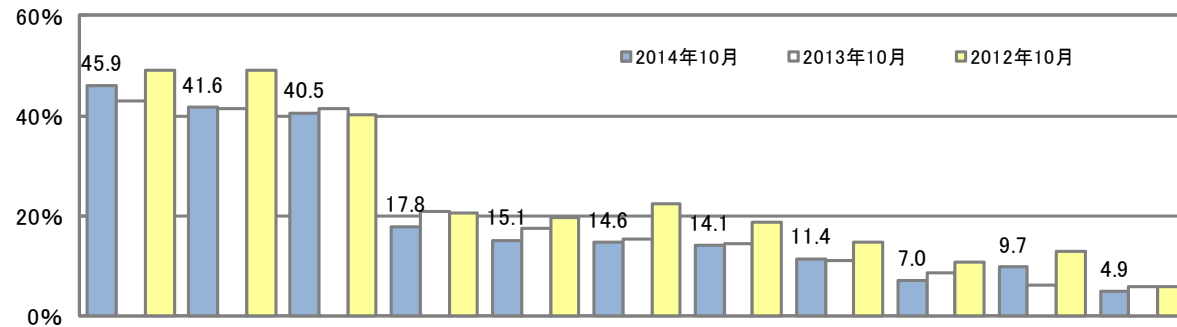


# ジェネリック医薬品 変更不可理由

Q4で「全くない」「わからない」以外を  
選択された方へ

Q5. ジェネリック医薬品への「変更不可」欄にチェックした理由は何でしょうか。あてはまるものをすべてお選びください。(MA)

変更不可の理由は、「有効性・安全性に対して疑問・不安」45.9%、「品質に対して疑問・不安」41.6%、「患者自身が使用を望んでいない」40.5%の3項目のスコアが高い。



	2014年10月	N	理由 (%)										
			有効性・安全性に対して疑問・不安を感じるから	品質に対して疑問・不安を感じるから	患者自身が使用を望んでいないから	ジェネリック医薬品に 適応がないから	情報提供体制に 不安を感じるから	調剤されるような薬剤を 薬局でどの様な薬剤を 配るのか心配だから	不安供給体制に 不安を感じるから	新しい薬の方が いるから	施設として使用する医薬品の 銘柄を指定されているから	その他	特に理由はない
全体	2014年10月	185	45.9	41.6	40.5	17.8	15.1	14.6	14.1	11.4	7.0	9.7	4.9
	2013年10月	210	42.9	41.4	41.4	21.0	17.6	15.2	14.3	11.0	8.6	6.2	5.7
	2012年10月	102	49.0	49.0	40.2	20.6	19.6	22.5	18.6	14.7	10.8	12.7	5.9
勤務区分	開業医	64	57.8	45.3	34.4	26.6	20.3	21.9	18.8	14.1	0.0	12.5	1.6
	勤務医	121	39.7	39.7	43.8	13.2	12.4	10.7	11.6	9.9	10.7	8.3	6.6
	勤務医(DPC)	58	39.7	36.2	32.8	13.8	10.3	8.6	8.6	12.1	10.3	8.6	6.9
	勤務医(非DPC)	63	39.7	42.9	54.0	12.7	14.3	12.7	14.3	7.9	11.1	7.9	6.3
GE活用方針	GE積極活用派	44	20.5	15.9	40.9	13.6	6.8	2.3	0.0	9.1	4.5	15.9	9.1
	薬剤師・患者・勤務先判断派	102	44.1	41.2	44.1	19.6	12.7	12.7	15.7	10.8	10.8	8.8	3.9
	GE消極派・不採用派	39	79.5	71.8	30.8	17.9	30.8	33.3	25.6	15.4	0.0	5.1	2.6

は全体より10pt以上。

は全体より10pt以下。



# 患者にジェネリック医薬品について説明する際の状況

Q2でジェネリック医薬品を  
「活用していない」以外を回答された方へ

Q6. 患者さんにジェネリック医薬品について説明する際の、最近の状況として最もあてはまるものをお答えください。(SA)

「自ら積極的に説明する」は全体の10.3%。「患者さんに尋ねられたら抵抗なく説明する」が85.4%と多数を占める。開業医は「自ら積極的に説明」が13.7%で、比較的説明に積極的。

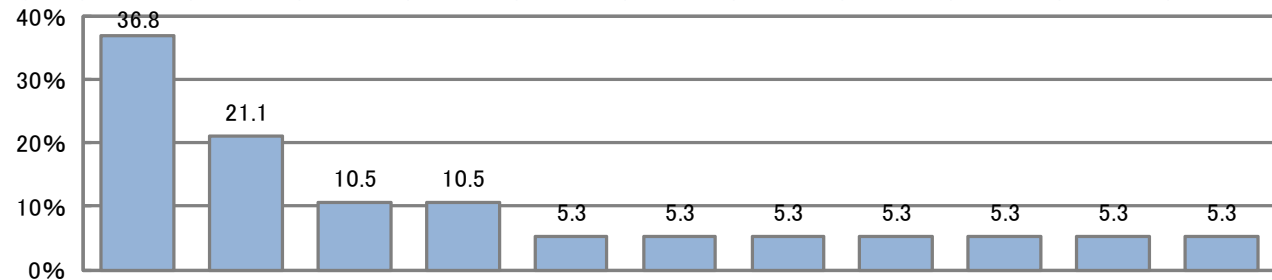
		(%)	自ら積極的に説明する	自ら積極的に説明しないが 患者さんに尋ねられたら 抵抗なく説明する	自ら積極的に説明しないし 患者さんに尋ねられて説明 することもなるべく避けたい	説明計
勤務区分	全体 (N=439)	10.3	85.4	4.3	95.7	
	開業医 (N=146)	13.7	82.9	3.4	96.6	
	勤務医 (N=293)	8.5	86.7	4.8	95.2	
	勤務医(DPC)(N=146)	7.5	87.7	4.8	95.2	
	勤務医(非DPC)(N=147)	9.5	85.7	4.8	95.2	
GE活用方針	GE積極活用派(N=124)	22.6	74.2	3.2	96.8	
	薬剤師・患者・勤務先判断派(N=262)	6.1	90.5	3.4	96.6	
	GE消極派・不採用派(N=53)	1.9	86.8	11.3	88.7	

# ジェネリック医薬品の説明を避けたい理由（FAアフターコーディング集計）

Q6で「自ら積極的には説明しないし、患者さんに尋ねられて説明することなるべく避けたい」と回答された方へ

Q7. あなたは前問で、「患者さんに対してジェネリック医薬品について積極的には説明しないし、患者さんに尋ねられて説明することなるべく避けたい」とお答えになりましたが、それはなぜですか。できるだけ詳しくお答えください。（FA）

「時間がかかるから／忙しいから」が30.8%でトップ。次いで、「ジェネリック医薬品を信用できないから／安全性に不安があるから」21.1%、「効果に疑問があるから」「メーカーを信用できないから」がともに10.5%で続く。



	(%)	N	時間がかかるから 忙しいから	ジェネリック医薬品を 信用できないから 安全性に不安があるから	ジェネリック医薬品の 効果に疑問があるから	ジェネリック医薬品 メーカーを信用でき ないから	患者からの希望がな ければ自分からは薦め ないから	ジェネリック医薬品に 対する苦情が多いから	ジェネリック医薬品に 対する知識が少ないから	薬局の判断で変更で きるから	元からジェネリック 医薬品を使用してい るから	その他	特になし
全体	全体	19	36.8	21.1	10.5	10.5	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3
勤務区分	開業医	5	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	勤務医	14	28.6	28.6	14.3	14.3	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0	7.1	7.1
	勤務医(DPC)	7	28.6	28.6	28.6	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	勤務医(非DPC)	7	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3
GE活用方針	GE積極活用派	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	薬剤師・患者・勤務先判断派	9	33.3	33.3	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	GE消極派・不採用派	6	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7

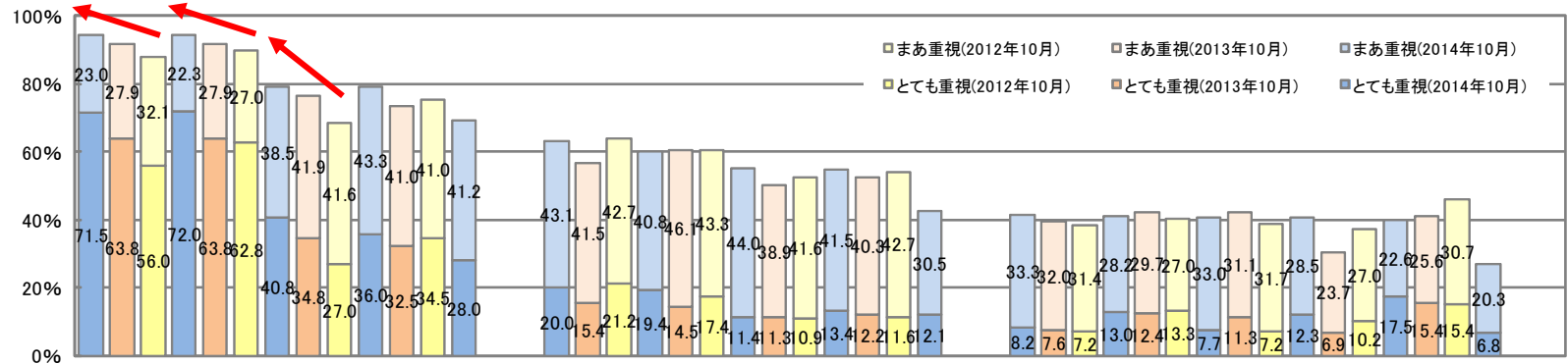
※各層N数僅少につき参考値

# ジェネリック医薬品 処方時重視点

Q2で「活用していない」以外を選択された方へ

## Q8. ジェネリック医薬品を処方する際に、下記の項目をどの程度重視しますか？(5段階SAマトリクス)

処方時の重視点では「品質が信頼できる」94.5%、「有効性・安全性の高さ」94.3%、「十分な情報提供」79.3%が上位3項目となっており、これらのスコアはいずれも2年連続上昇している。



重視計 (%)	N	品質が信頼できること	有効性・安全性の高さ	十分な情報提供がなされていること	供給が安定していること	製品の臨床データがあること	薬価の安さ	製品の利便性	評判や第三者からの評価	製剤的工夫がされていること	薬価差益の大きさ	採用実績	他の医療機関での販売経路	企業の規模・ブランド力	取扱品目の多さ	MRの対応力	似て先発品と大きさや形が
		2014年10月	2013年10月	2012年10月	開業医	勤務医	勤務医(DPC)	勤務医(非DPC)	GE積極活用派	薬剤師・患者・勤務先判断派	GE消極派・不採用派						
全体	439	94.5	94.3	79.3	79.3	69.2	63.1	60.1	55.4	54.9	42.6	41.5	41.2	40.8	40.8	40.1	27.1
	434	91.7	91.7	76.7	73.5		56.9	60.6	50.2	52.5		39.6	42.2	42.4	30.6	41.0	
	293	88.1	89.8	68.6	75.4		63.8	60.8	52.6	54.3		38.6	40.3	38.9	37.2	46.1	
勤務区分	146	94.5	95.2	78.8	82.9	71.9	63.7	63.0	49.3	59.6	37.0	35.6	48.6	52.1	46.6	44.5	31.5
	293	94.5	93.9	79.5	77.5	67.9	62.8	58.7	58.4	52.6	45.4	44.4	37.5	35.2	37.9	37.9	24.9
	146	92.5	91.1	80.8	72.6	69.2	58.2	56.8	55.5	52.7	47.9	46.6	37.0	32.2	32.2	37.7	23.3
	147	96.6	96.6	78.2	82.3	66.7	67.3	60.5	61.2	52.4	42.9	42.2	38.1	38.1	43.5	38.1	26.5
GE活用方針	124	93.5	93.5	79.0	83.9	66.1	82.3	72.6	51.6	62.1	49.2	42.7	46.8	50.0	52.4	37.1	39.5
	262	94.3	94.3	77.1	78.2	67.6	58.4	55.7	55.7	52.3	39.7	42.0	39.7	37.8	36.3	37.8	23.7
	53	98.1	96.2	90.6	73.6	84.9	41.5	52.8	62.3	50.9	41.5	35.8	35.8	34.0	35.8	58.5	15.1

は全体より10pt以上。

は全体より10pt以下。

# ジェネリック医薬品は今後広まっていくべきか

Q9. ジェネリック医薬品が、国民医療費の節減や患者負担の軽減に寄与することを踏まえ、あなたご自身のお考えとしてお答えください。  
今後ジェネリック医薬品はよりいっそう世の中に広まっていくべきだと思いますか。(SA)

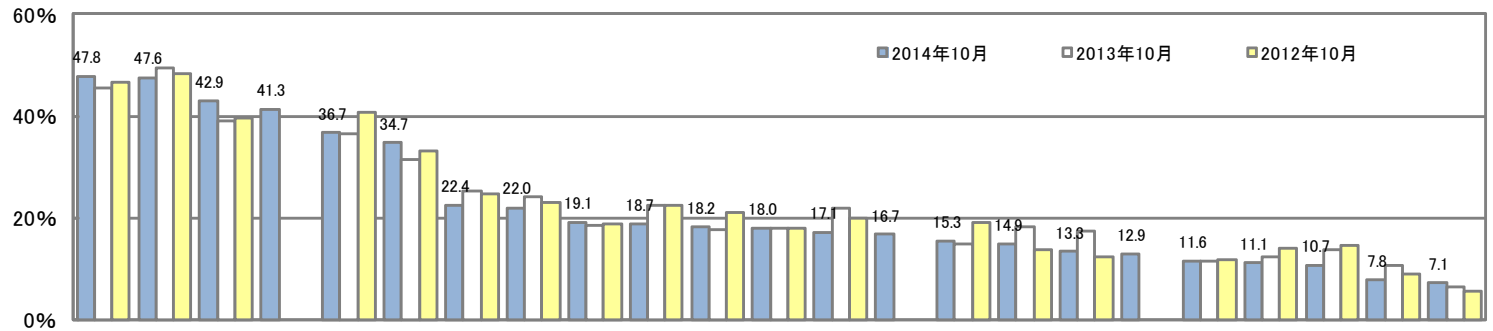
「広まっていくべき」「どちらかという広まっていくべき」を合計した「広まっていくべきだと思う」計は全体の計57.3%で、13年10月より6.4pt増加、12年10月からも2.6pt増加している。

	(%)						思う計	思わない計
		広まっていくべきだと思う	どちらかといえば広まっていくべきだと思う	どちらともいえない	どちらかといえば広まっていくべきだと思わない	広まっていくべきだと思わない		
全体	2014年10月(N=450)	23.1	34.2	33.6	4.4	4.7	57.3	9.1
	2013年10月(N=450)	17.3	33.6	34.2	7.3	7.6	50.9	14.9
	2012年10月(N=300)	21.0	33.7	32.3	5.7	7.3	54.7	13.0
勤務区分	開業医(N=150)	24.0	34.7	32.7	4.7	4.0	58.7	8.7
	勤務医(N=300)	22.7	34.0	34.0	4.3	5.0	56.7	9.3
	勤務医(DPC)(N=150)	21.3	34.0	37.3	3.3	4.0	55.3	7.3
	勤務医(非DPC)(N=150)	24.0	34.0	30.7	5.3	6.0	58.0	11.3
GE活用方針	GE積極活用派(N=124)	56.5	32.3	9.7	1.6		88.7	1.6
	薬剤師・患者判断派(N=262)	12.2	41.2	40.5	3.8	2.3	53.4	6.1
	GE消極派・不採用派(N=64)	3.1	9.4	51.6	15.6	20.3	12.5	35.9


# ジェネリック医薬品を積極活用するために必要なこと

Q10. 今後、あなたご自身がジェネリック医薬品をいま以上に信頼し、積極的に活用するようになるためには、どのようなことが必要ですか？(MA)

「国が品質を保証」が47.8%でトップスコア。「より高品質な製品の開発・製造」が僅差の47.6%。加えて、「メーカーからの情報提供の充実」「臨床データの開示」が40%を超えるスコアだった。



N	2014年10月																									2013年10月																									2012年10月																																															
	(%)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25																																																																								
全体	450	47.8	47.6	42.9	41.3	36.7	34.7	22.4	22.0	19.1	18.7	18.2	18.0	17.1	16.7	15.3	14.9	13.3	12.9	11.6	11.1	10.7	7.8	7.1	450	45.6	49.3	38.9		36.4	31.3	25.1	24.0	18.4	22.4	17.6	18.0	22.0		14.9	18.2	17.3		11.3	12.2	13.8	10.7	6.4	300	46.7	48.3	39.7		40.7	33.0	24.7	23.0	18.7	22.3	21.0	18.0	20.0		19.0	13.7	12.3		11.7	14.0	14.7	9.0	5.7																										
勤務区分	開業医	150	56.0	55.3	45.3	42.7	37.3	42.7	20.0	20.7	25.3	16.7	17.3	22.7	18.0	18.0	16.7	18.7	21.3	11.3	12.7	6.7	10.0	6.7	4.7	300	43.7	43.7	41.7	40.7	40.7	36.3	30.7	23.7	22.7	16.0	19.7	18.7	15.7	16.7	16.0	14.7	13.0	9.3	13.7	11.0	13.3	11.0	8.3	8.3	150	41.3	41.3	40.0	45.3	32.0	28.0	25.3	20.7	14.7	14.7	20.0	13.3	17.3	18.0	17.3	13.3	6.7	14.7	10.0	11.3	11.3	6.7	7.3	150	46.0	46.0	43.3	36.0	40.7	33.3	22.0	24.7	17.3	24.7	17.3	18.0	16.0	14.0	12.0	12.7	12.0	12.7	12.0	15.3	10.7	10.0	9.3
	GE活用方針	GE積極活用派	124	50.8	49.2	39.5	25.0	34.7	37.9	34.7	29.0	22.6	22.6	23.4	25.0	25.8	14.5	23.4	20.2	12.9	16.1	13.7	16.9	17.7	13.7	4.0	薬剤師・患者・勤務先判断派	262	45.8	46.9	43.9	46.6	38.2	35.9	21.8	21.4	17.9	19.5	17.9	16.0	16.4	17.2	14.1	14.5	11.8	13.4	11.5	10.3	9.2	6.5	7.3	GE消極派・不採用派	64	50.0	46.9	45.3	51.6	34.4	23.4	1.6	10.9	17.2	7.8	9.4	12.5	3.1	18.8	4.7	6.3	20.3	4.7	7.8	3.1	3.1	1.6	12.5																						



**【ジェネリック医薬品 定点調査】  
薬剤師におけるジェネリック医薬品への意識  
2014年10月 薬剤師調査**

2015年1月6日

**沢井製薬株式会社**

ジェネリック医薬品に関する意識から採用・調剤状況などを時系列で分析する。

## 薬剤師調査

調査対象： 全国の20～60代男女の薬剤師 450名

サンプル構成：

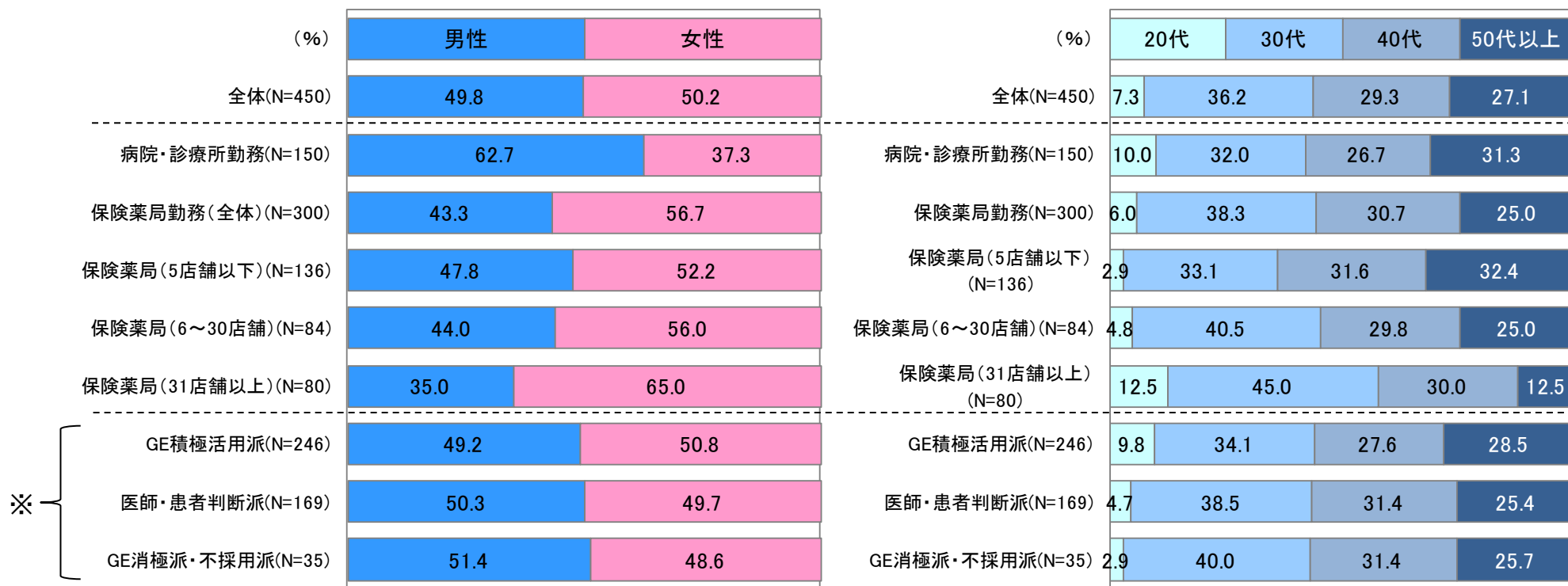
			男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	合計
勤務 区分	病院・診療所勤務	全体	5	27	28	29	5	10	21	12	11	2	150
	保険薬局勤務	全体	4	46	41	28	11	14	69	51	29	7	300
		5店舗以下	2	22	18	14	9	2	23	25	14	7	136
		6～30店舗	1	11	16	8	1	3	23	9	12	0	84
		31店舗以上	1	13	7	6	1	9	23	17	3	0	80
合計			9	73	69	57	16	24	90	63	40	9	450

調査項目： ・「ジェネリック医薬品」の認知  
 ・「変更不可」の処方せん割合  
 ・「後発医薬品調剤体制加算」の取得状況と今後の意向  
 ・患者さんにジェネリック医薬品について説明する際の最近の状況 など

調査手法： インターネット調査（調査機関：楽天リサーチ）

調査期間： 2014年10月24日（金）～26日（日）





※Q2 「ジェネリック医薬品の使用方針」より分類

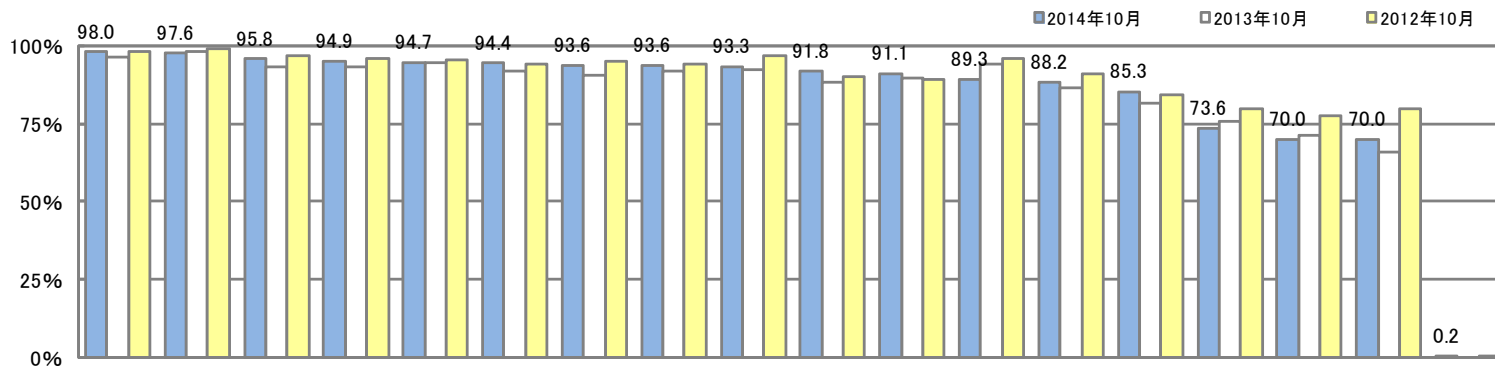
- GE積極活用派・・・「積極的に活用している」と回答した方
- 医師・患者判断派・・・「医師の判断に委ねている」「患者さんの判断に委ねている」と回答した方
- GE消極派・不採用派・・・「積極的には活用していない」「活用していない」と回答した方

- Q1. 「ジェネリック医薬品」についてご存知の事柄をすべてお選びください。(MA)
- Q2. あなたのお勤め先では、ジェネリック医薬品の積極的活用を進められていますか。(SA)
- Q3. (Q2で「積極的には活用していない」「活用していない」と回答された方へ)  
ジェネリック医薬品を「積極的には活用していない」、あるいは「活用していない」理由をすべてお選びください。(MA)
- Q4. (保険薬局勤務、かつQ2で「活用していない」以外の方へ)  
2014年3月までの「後発医薬品調剤体制加算」(22%以上:加算1=5点加算、30%以上:加算2=15点加算、35%以上:加算3=19点加算)において、あなたのお勤め先の薬局が取得していた「後発医薬品調剤体制加算」の算定区分は次のいずれですか。(SA)
- Q5. 2014年4月以降の「後発医薬品調剤体制加算」(55%以上:加算1=18点加算、65%以上:加算2=22点加算)において、あなたのお勤め先の薬局が取得している「後発医薬品調剤体制加算」の算定区分は次のいずれですか。(SA)
- Q6. あなたのお勤め先の薬局では、「後発医薬品調剤体制加算」の取得に対して、どのような方針を取っていますか。(SA)
- Q7. 最近1ヶ月以内に応需した処方せんに記載されていた医薬品のうち、ジェネリック医薬品への変更が「不可」となっていない医薬品はどの程度ですか。(SA)
- Q8. 最近1ヶ月以内に応需した処方せんのうち、実際にジェネリック医薬品を調剤した医薬品の割合はどの程度ですか。(SA)
- Q9. (Q8で「すべて」「わからない」以外を選択された方へ)  
ジェネリック医薬品への変更が可能な処方薬で、ジェネリック医薬品を調剤されなかった理由は何でしょうか。(MA)
- Q10. 患者さんに薬を調剤する際、ジェネリック医薬品について説明されていますか。(SA)
- Q11. (Q10で「自ら積極的に説明することが多かった」以外を選択された方へ)  
前問でジェネリック医薬品について説明する際の状況として、【Q10の答え】とお答えになった理由は何ですか？ご自由にお答えください。(FA)
- Q12. 今後、ジェネリック医薬品への変更が「不可」となっていない処方薬の場合、ジェネリック医薬品に変更しますか？(SA)
- Q13. (Q2で「活用していない」以外を選択された方へ)  
あなたのお勤め先では、ジェネリック医薬品を採用する際に、何を重視しますか。(5段階SAマトリクス)
- Q14. ジェネリック医薬品が、国民医療費の節減や患者負担の軽減に寄与することを踏まえ、あなたご自身のお考えとしてお答えください。  
今後ジェネリック医薬品はよりいっそう世の中に広まっていくべきだと思いますか？(SA)
- Q15. 今後、あなたご自身がジェネリック医薬品をいま以上に信頼し、積極的に活用するようになるためには、どのようなことが必要ですか？(MA)

※SA: 単一回答  
※MA: 複数回答  
※FA: 自由回答

## Q1.「ジェネリック医薬品」についてご存知の事柄をすべてお選び下さい。(MA)

17項目中11項目で90%以上の認知があった。「新薬と同等の効き目・品質」も90%を上回っている。



(%)	N	新薬の特許期間満了後に発売される薬	医療用医薬品である	一般名で処方することが可能である	薬剤師と相談しG.Eに変更可能なもの	「変更不可」患者は医師や薬剤師と相談しG.Eに変更可能なもの	ためにおさえられている	薬価が安いのは、研究費が安いためである	国全体の医療費削減につながる	製剤工夫がされているものもある	薬を飲みやすいように、軽減になっている	患者個人の自己負担額の軽減につながる	錠剤、注射剤、点眼剤・貼付剤など様々な剤形で展開	錠剤、注射剤、点眼剤・貼付剤など様々な剤形で展開	生活習慣病治療で抗がん剤など様々な薬効で展開	同等の効き目・品質	新薬と同じ主成分・同等の効き目・品質	薬価は新薬の2/6割(※)	有効性・安全性を確認	生物学的同等性試験及び溶出試験により試験及び有効性・安全性を確認	財政健全化につながる	健康保険組合の約70%のシェア	医療用医薬品の約70%のシェア	使用されている(※)	日本ではまだ約45%程度しかない(※)	引き上げを目標として	国の方針として平成30年度まで	ひとつも知らない					
全体	450	98.0	97.6	95.8	94.9	94.7	94.4	93.6	93.6	93.3	91.8	91.1	89.3	88.2	85.3	73.6	70.0	70.0	0.2														
	450	96.4	98.2	93.3	93.1	94.4	92.0	90.4	92.0	92.2	88.4	89.6	94.0	86.4	81.8	75.8	71.1	65.8	0.0														
	300	98.3	99.0	96.7	96.0	95.3	94.0	95.0	94.0	97.0	90.0	89.3	96.0	91.0	84.3	79.7	77.7	79.7	0.3														
勤務区分	病院・診療所	150	97.3	98.0	95.3	94.0	92.0	92.7	90.7	91.3	92.7	90.7	87.3	90.7	86.0	81.3	68.7	64.7	72.0	0.0													
	保険薬局	300	98.3	97.3	96.0	95.3	96.0	95.3	95.0	94.7	93.7	92.3	93.0	88.7	89.3	87.3	76.0	72.7	69.0	0.3													
	保険薬局(5店舗以下)	136	97.1	96.3	94.9	93.4	94.1	94.1	93.4	94.1	91.9	87.5	91.2	86.8	86.0	86.8	74.3	74.3	69.1	0.0													
	保険薬局(6~30店舗)	84	100.0	100.0	96.4	95.2	98.8	96.4	100.0	95.2	94.0	96.4	95.2	89.3	90.5	88.1	82.1	78.6	72.6	0.0													
	保険薬局(31店舗以上)	80	98.8	96.3	97.5	98.8	96.3	96.3	92.5	95.0	96.3	96.3	93.8	91.3	93.8	87.5	72.5	63.8	65.0	1.3													
GE活用方針	GE積極活用派	246	98.4	98.0	96.3	95.5	95.1	95.5	93.1	95.5	93.5	92.3	91.1	92.3	87.8	87.4	74.8	72.0	72.8	0.0													
	医師・患者判断派	169	97.6	97.6	94.7	93.5	93.5	92.9	94.1	91.7	92.3	92.3	89.3	87.6	88.2	84.0	73.4	68.6	67.5	0.0													
	GE消極派・不採用派	35	97.1	94.3	97.1	97.1	97.1	94.3	94.3	88.6	97.1	94.3	91.4	80.0	91.4	77.1	65.7	62.9	2.9														

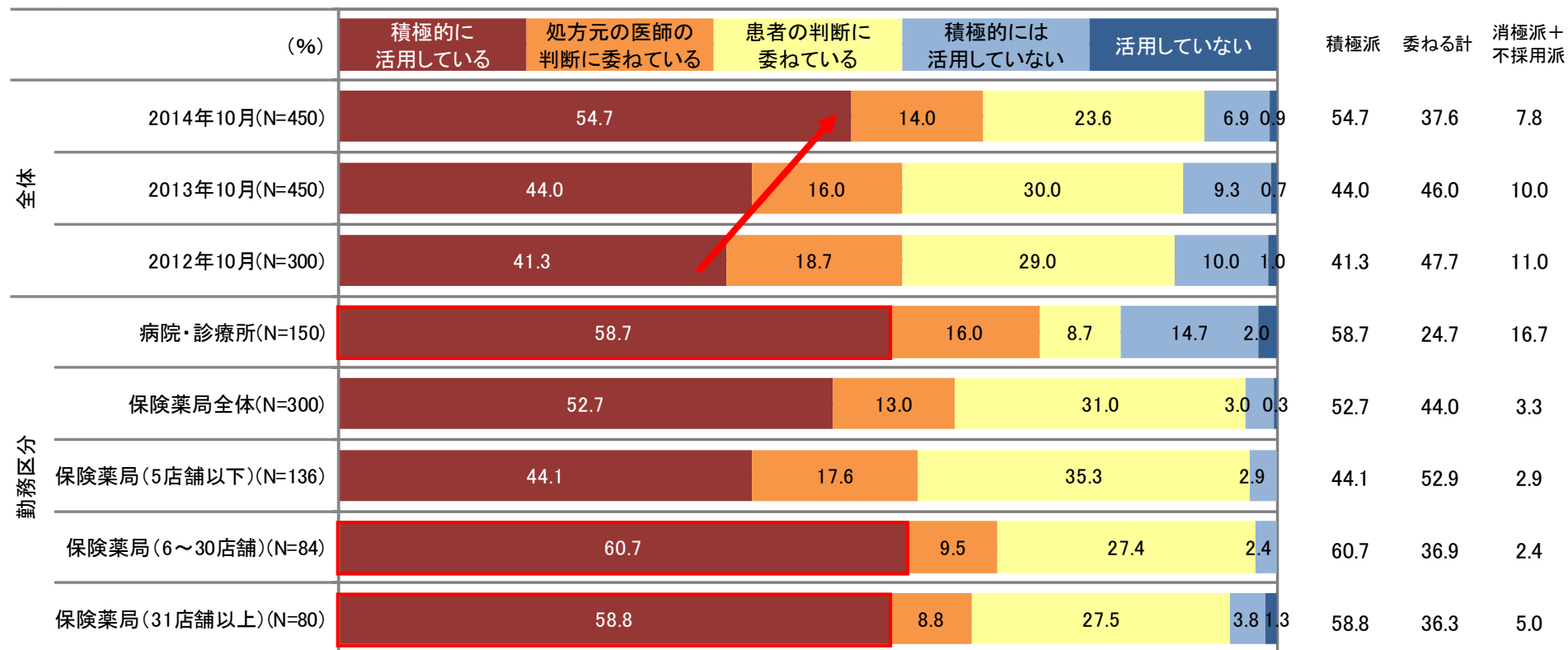
(※)2013年調査と一部文章内容を変更(数値更新)

は全体より10pt以上。

は全体より10pt以下。

## Q2. あなたのお勤め先では、ジェネリック医薬品の積極的活用を進められていますか。(SA)

「積極的に活用している」は全体の54.7%で、13年10月より10.7ptの大幅増。勤務区分別でみると、「保険薬局」よりも「病院・診療所」の方が「積極的に活用している」のスコアが高いが、保険薬局の中でも、「6～30店舗」「31店舗以上」では「積極的に活用している」のスコアが高い傾向。

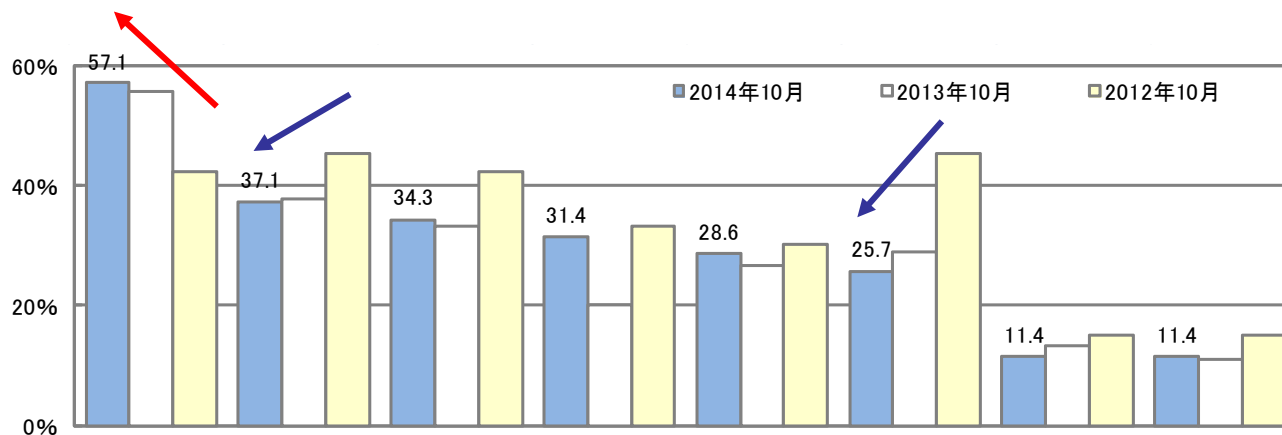


# ジェネリック医薬品を活用しない理由

Q2で「積極的には活用していない」  
「活用していない」と回答された方へ

Q3. ジェネリック医薬品を「積極的には活用していない」、あるいは「活用していない」理由をすべてお選びください。(MA)

ジェネリック医薬品を積極的に活用していない理由は、「医師が積極的に処方しない」が57.1%で最も多く、13年10月より1.5pt増加している。「安定供給体制に不安」「有効性・安全性に疑問・不安」などのスコアは減少傾向。



	(%)	N	医師が積極的に処方しないから	安定供給体制に不安を感じるから	品質に対して疑問・不安を感じるから	情報提供体制に不安を感じるから	在庫負担が増えるから	有効性・安全性に疑問・不安を感じるから	ジェネリック医薬品自体に不安を感じるから	その他
全体	2014年10月	35	57.1	37.1	34.3	31.4	28.6	25.7	11.4	11.4
	2013年10月	45	55.6	37.8	33.3	20.0	26.7	28.9	13.3	11.1
	2012年10月	33	42.4	45.5	42.4	33.3	30.3	45.5	15.2	15.2
勤務区分	病院・診療所	25	56.0	44.0	36.0	40.0	20.0	28.0	16.0	12.0
	保険薬局	10	60.0	20.0	30.0	10.0	50.0	20.0	0.0	10.0
	保険薬局(5店舗以下)	4	50.0	50.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0
	保険薬局(6~30店舗)	2	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	保険薬局(31店舗以上)	4	50.0	0.0	50.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0

は全体より10pt以上。

は全体より10pt以下。

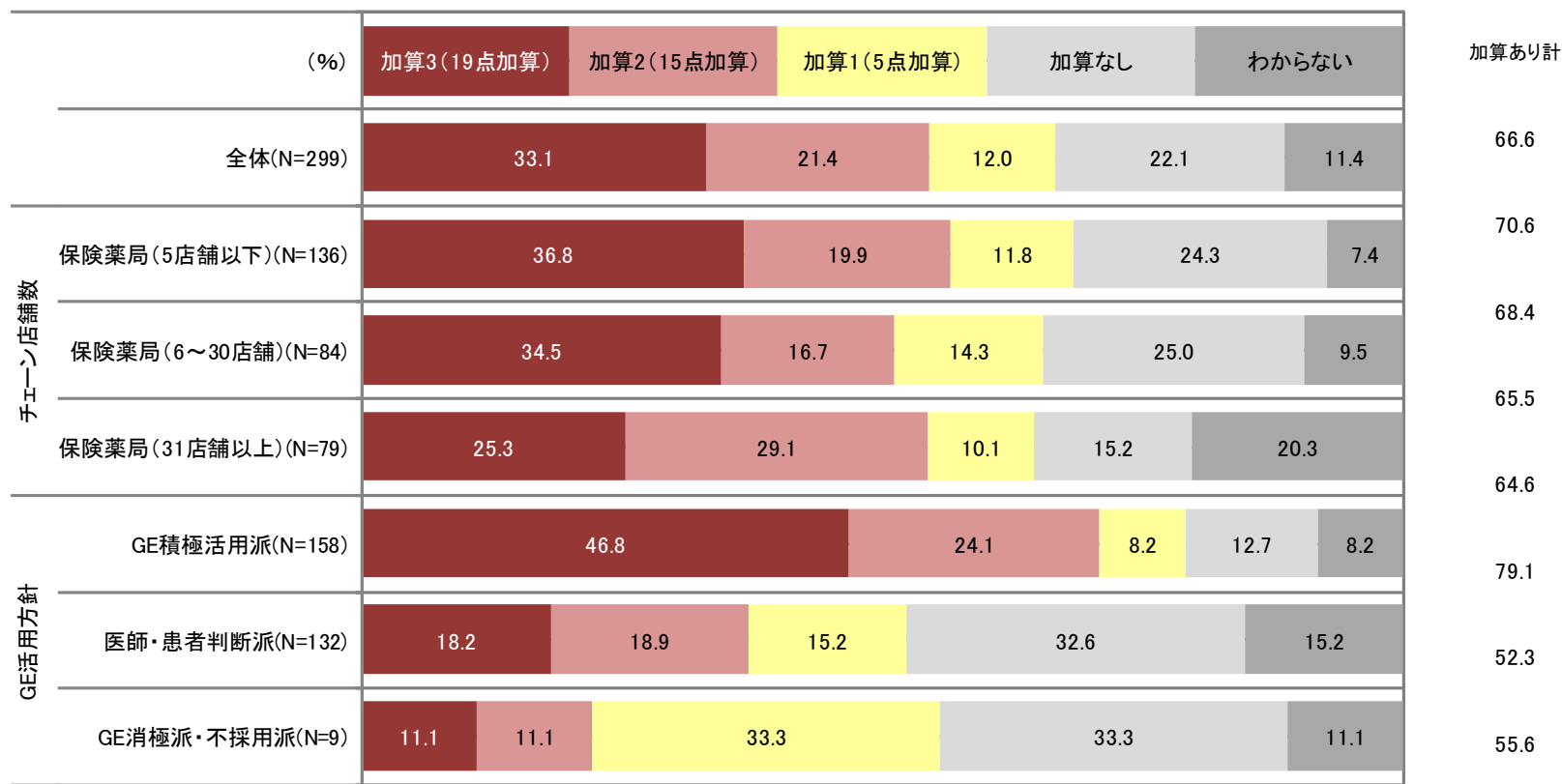
# 後発医薬品調剤体制加算の算定区分(2014年3月時点)

保険薬局勤務、かつQ2で  
「活用していない」以外の方へ

Q4. 2014年3月までの「後発医薬品調剤体制加算」(22%以上:加算1=5点加算、30%以上:加算2=15点加算、35%以上:加算3=19点加算)において、あなたのお勤め先の薬局が取得していた「後発医薬品調剤体制加算」の算定区分は次のいずれですか。(SA)

2014年3月時点では、「加算3(19点加算)」が33.1%で最も多かった。「加算2」「加算1」を合わせた「加算あり」計は66.6%で、13年10月調査時のスコア分布と大きな差は見られない。

※2013年10月調査では、調査時点(2013年10月)時点の算定区分を聴取。



「加算1」とは・・・当該薬局において調剤した薬剤の規格単位数量に占める後発医薬品の規格単位数量の割合が22%以上であること  
 「加算2」とは・・・当該薬局において調剤した薬剤の規格単位数量に占める後発医薬品の規格単位数量の割合が30%以上であること  
 「加算3」とは・・・当該薬局において調剤した薬剤の規格単位数量に占める後発医薬品の規格単位数量の割合が35%以上であること

※ジェネリック医薬品消極派・不採用派は、サンプル数僅少につき参考値

# 後発医薬品調剤体制加算の算定区分(2014年10月時点)

保険薬局勤務、かつQ2で  
「活用していない」以外の方へ

Q5. 2014年4月以降の「後発医薬品調剤体制加算」(55%以上:加算1=18点加算、65%以上:加算2=22点加算)において、あなたのお勤め先の薬局が取得していた「後発医薬品調剤体制加算」の算定区分は次のいずれですか。(SA)

算定区分改訂後の14年10月時点の算定区分では、「加算2(22点加算)」が31.4%で最も多かったが、「加算あり」計は58.9%となっており、14年3月時点の「加算あり」計66.6%より7.7pt低下している。特に14年3月時点で「加算1」だった薬局において、14年10月で「加算なし」のスコアが高い。

	(%)	算定区分				加算あり計	14年3月時点 加算あり計
		加算2(22点加算)	加算1(18点加算)	加算なし	わからない		
全体(N=299)		31.4	27.4	30.4	10.7	58.9	66.6
チェーン店舗数	保険薬局(5店舗以下)(N=136)	36.8	22.1	33.8	7.4	58.8	68.4
	保険薬局(6~30店舗)(N=84)	29.8	29.8	33.3	7.1	59.5	65.5
	保険薬局(31店舗以上)(N=79)	24.1	34.2	21.5	20.3	58.2	64.6
GE活用方針	GE積極活用派(N=158)	44.9	32.9	16.5	5.7	77.8	79.1
	医師・患者判断派(N=132)	16.7	22.7	43.9	16.7	39.4	52.3
	GE消極派・不採用派(N=9)	11.1	77.8	11.1		11.1	55.6
2014年3月時点 加算区分	加算3(19点加算)(N=66)	76.8	19.2	3.0	1.0	96.0	
	加算2(15点加算)(N=36)	18.8	67.2	9.4	4.7	85.9	
	加算1(5点加算)(N=64)	5.6	38.9	50.0	5.6	44.4	
	加算なし(N=99)	3.0	1.5	95.5		4.5	

「加算1」とは・・・当該薬局において調剤した薬剤の規格単位数量に占める後発医薬品の規格単位数量の割合が55%以上であること  
「加算2」とは・・・当該薬局において調剤した薬剤の規格単位数量に占める後発医薬品の規格単位数量の割合が65%以上であること

※ジェネリック医薬品消極派・不採用派は、サンプル数僅少につき参考値



# 後発医薬品調剤体制加算の取得方針

保険薬局勤務、かつQ5で  
「わからない」以外の方へ

Q6. あなたのお勤め先の薬局では、「後発医薬品調剤体制加算」の取得に対して、どのような方針をとっておられますか。(SA)

「加算2を目指す」は全体の48.7%と半数近い。「31店舗以上」の薬局では「加算2を目指す」が58.7%と、大規模チェーンでは加算取得意向が高くなっている。また、14年10月時点で「加算なし」の薬局でも42.9%が今後の加算取得意向があると回答しており、加算取得意向は全体的に高めになっている。

		(%)	加算2(22点加算)を 目指す・維持する方針	加算1(18点加算)を 目指す・維持する方針	加算の取得は 目指していない	わからない	加算取得 意向あり計
全体(N=267)			48.7	26.2	21.7	3.4	74.9
チェーン店舗数	保険薬局(5店舗以下)(N=126)		45.2	26.2	26.2	2.4	71.4
	保険薬局(6~30店舗)(N=78)		46.2	29.5	19.2	5.1	75.6
	保険薬局(31店舗以上)(N=63)		58.7	22.2	15.9	3.2	81.0
GE活用方針	GE積極活用派(N=149)		66.4	24.2	7.4	2.0	90.6
	医師・患者判断派(N=110)		27.3	30.9	37.3	4.5	58.2
	GE消極派・不採用派(N=8)		12.5	75.0	12.5		12.5
2014年10月時点 加算区分	加算2(22点加算)(N=94)		91.5	2.1	4.3	2.1	93.6
	加算1(18点加算)(N=82)		47.6	41.5	4.9	6.1	89.0
	加算なし(N=91)		5.5	37.4	54.9	2.2	42.9

# ジェネリック変更可能処方薬の割合

Q7. 最近1ヶ月以内に応需した処方せんに記載されていた医薬品のうち、ジェネリック医薬品への変更が「不可」となっていない医薬品はどの程度ですか。(SA)

最近1ヶ月で「変更不可」になっていない医薬品があったと回答したのは全体の79.3%、「変更不可50%以上」計は全体の46.7%。「病院・診療所勤務」と「保険薬局勤務」では、「変更不可あり」計、「変更不可50%以上」計ともに「病院・診療所勤務」の方がスコアが低くなっている。

	(%)	変更不可の割合													変更不可あり計	変更不可50%以上
		全くない	10%未満	20%未満	30%未満	40%未満	50%未満	60%未満	70%未満	80%未満	90%未満	90%以上	すべて	わからない		
全体	2014年10月(N=450)	6.4	14.7	5.6	6.4	3.3	2.7	5.1	6.9	9.1	8.0	15.1	2.4	14.2	79.3	46.7
	2013年10月(N=450)	6.9	12.4	8.7	6.4	4.2	3.3	4.0	6.7	8.4	8.2	14.2	3.1	13.3	79.8	44.7
	2012年10月(N=300)	8.3	16.0	4.0	4.3	4.3	3.0	4.7	8.0	9.3	8.3	16.3	2.7	10.7	81.0	49.3
勤務区分	病院・診療所勤務(N=150)	16.7	9.3	4.7	6.7	2.0	2.7	5.3	4.7	2.7	2.7	10.7	5.3	26.7	56.7	31.3
	保険薬局勤務(N=300)	17.3	6.0	6.3	4.0	2.7	5.0	8.0	12.3	10.7	17.3	1.0	8.0	90.7	54.3	
	保険薬局(5店舗以下)(N=136)	18.4	5.1	6.6	5.1	1.5	3.7	6.6	9.6	11.8	22.8	1.5	5.1	92.6	55.9	
	保険薬局(6~30店舗)(N=84)	15.5	7.1	4.8	2.4	4.8	8.3	9.5	17.9	10.7	13.1	6.0		94.0	59.5	
	保険薬局(31店舗以上)(N=80)	17.5	6.3	7.5	3.8	2.5	3.8	8.8	11.3	8.8	12.5	1.3	15.0	83.8	46.3	
GE活用態度	GE積極活用派(N=246)	7.3	13.0	5.7	7.3	2.8	2.0	5.3	8.1	11.4	6.1	14.2	3.3	13.4	79.3	48.4
	医師・患者判断派(N=169)	17.8	5.9	5.3	4.1	3.6	4.7	5.9	7.7	11.8	16.6	1.8	13.0	85.2	48.5	
	GE消極派・不採用派(N=35)	22.9	11.4	2.9	5.7	2.9	2.9	5.7	2.9	2.9	14.3	25.7		51.4	25.7	

# 変更可能処方せんのジェネリック医薬品変更割合

Q8. 最近1ヶ月以内に応需した処方せんのうち、実際にジェネリック医薬品を調剤した医薬品の割合はどの程度ですか？  
正確でなくても構いませんので、最もあてはまると思われるものをお答えください。(SA)

実際にジェネリック医薬品を調剤したのは全体の87.8%。50%以上調剤しているのは全体の43.6%で、13年10月より約20pt増加。特に保険薬局では、50.3%と高いスコアとなっている。

	(%)	割合												調剤計	調剤 50%以上計		
		全くない	10%未満	20%未満	30%未満	40%未満	50%未満	60%未満	70%未満	80%未満	90%未満	90%以上	すべて			わからない	
全体	2014年10月(N=450)	2.4	4.4	6.9	10.4	11.6	10.9	15.8	11.6	9.3	4.0	2.4	0.4	9.8	87.8	43.6	
	2013年10月(N=450)	2.4	6.4	8.4	18.2		18.2	11.8	8.7	7.1	2.7	2.7	2.7	0.2	10.4	87.1	24.0
	2012年10月(N=300)	3.3	8.0	13.0	21.3		18.7	11.3	5.0	4.7	2.7	1.7	2.3	0.3	7.7	89.0	16.7
勤務区分	病院・診療所勤務(N=150)	6.7	6.7	9.3	10.0	10.7	10.7	10.7	6.7	3.3	2.7	5.3	1.3	16.0	77.3	30.0	
	保険薬局勤務(N=300)	0.3	3.3	5.7	10.7	12.0	11.0	18.3	14.0	12.3	4.7	1.0	6.7	93.0	50.3		
	保険薬局(5店舗以下)(N=136)	2.2	6.6	13.2	10.3	8.8	16.2	11.8	17.6	5.9	2.2	5.1	94.9	53.7			
	保険薬局(6~30店舗)(N=84)	2.4	4.8	3.6	15.5	19.0	17.9	21.4	8.3	3.6	3.6	96.4	51.2				
	保険薬局(31店舗以上)(N=80)	1.3	6.3	5.0	13.8	11.3	6.3	22.5	10.0	7.5	3.8	12.5	86.3	43.8			
GE活用態度	GE積極活用派(N=246)	0.8	4.1	4.5	10.6	12.2	19.1	15.4	14.2	5.7	3.7	0.8	8.5	90.7	58.9		
	医師・患者判断派(N=169)	1.8	6.5	8.9	18.9	13.6	9.5	13.6	8.3	4.1	2.4	1.2	11.2	87.0	29.6		
	GE消極派・不採用派(N=35)	17.1	22.9	17.1	11.4	8.6	8.6	2.9	11.4	71.4	2.9						

※ジェネリック医薬品への変更が可能な医薬品を全体の100%としている。

# 全体に対するジェネリック医薬品への変更割合

Q7. 最近1ヶ月以内に応需した処方せんに記載されていた医薬品のうち、ジェネリック医薬品への変更が「不可」となっていない医薬品はどの程度ですか？(SA)  
 Q8. 最近1ヶ月以内に応需した処方せんのうち、実際にジェネリック医薬品を調剤した医薬品の割合はどの程度ですか？(SA)

実際にジェネリック医薬品に変更した割合は、23.8%で13年10月から4.7pt増加。  
 「病院・診療所」が17.3%に対し、「保険薬局」では26.8%となっている。

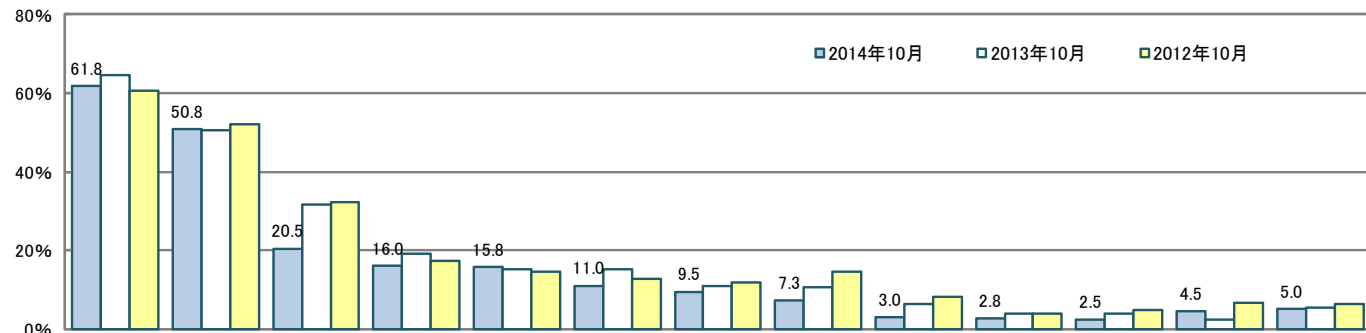
	Q7. 変更可能な 処方薬の 割合平均		Q8. 変更可能な処方 せんにジェネリック 医薬品に変更した割合		実際に ジェネリック医薬品に 変更した割合
全体	50.4%	×	47.2%	=	23.8%
病院・診療所勤務	41.5%	×	41.6%	=	17.3%
保険薬局勤務	54.0%	×	49.7%	=	26.8%
保険薬局（5店舗以下）	55.3%		51.5%		28.5%
保険薬局（6～30店舗）	55.0%		50.6%		27.8%
保険薬局（31店舗以上）	50.4%		45.1%		22.8%
GE積極活用派	50.7%	×	56.1%	=	28.4%
医師・患者判断派	52.8%	×	38.9%	=	20.5%
GE消極派・不採用派	34.6%	×	19.4%	=	6.7%
参考：2013年10月調査	49.6%	×	38.5%	=	19.1%
参考：2012年10月調査	50.8%	×	34.0%	=	17.3%
参考：2011年11月調査	52.3%	×	30.3%	=	15.8%

# ジェネリック医薬品を調剤しなかった理由

Q8で「すべて」「わからない」以外を  
選択された方へ

Q9. ジェネリック医薬品への変更が可能な処方薬で、ジェネリック医薬品を調剤されなかった理由は何でしょうか。(MA)

ジェネリック医薬品を調剤しない理由は、「患者が変更を希望しなかったから」が61.8%でトップ(13年10月から2.9pt減)、次いで「在庫していなかったから」50.8%(同0.4pt減)。全体的にスコアは減少傾向。



	(%)	N	患者が変更を希望しなかったから	在庫していなかったから	患者の負担額があまり変わらなかつたから	施設として使用する医薬品の銘柄を指定されているから	ジェネリック医薬品に適応がないから	不安を感ずるから	ジェネリック医薬品の安全性に疑問を感じるから	品質に対する疑問を感じるから	情報提供体制に不安を感ずるから	新しい薬の方が慣れているから	ジェネリック医薬品への変更を説明する時間がなかつたから	その他	特に理由はない
			2014年10月	2013年10月	2012年10月	2014年10月	2013年10月	2012年10月	2014年10月	2013年10月	2012年10月	2014年10月	2013年10月	2012年10月	2014年10月
全体			61.8	50.8	20.5	16.0	15.8	11.0	9.5	7.3	3.0	2.8	2.5	4.5	5.0
		400	61.8	50.8	20.5	16.0	15.8	11.0	9.5	7.3	3.0	2.8	2.5	4.5	5.0
		399	64.7	50.4	31.6	19.0	15.0	15.3	11.0	10.5	6.3	4.0	3.8	2.5	5.3
		273	60.4	52.0	32.2	17.2	14.7	12.8	11.7	14.7	8.1	4.0	4.8	6.6	6.2
勤務区分															
		121	21.5	32.2	5.0	26.4	16.5	14.9	8.3	10.7	6.6	5.0	0.8	7.4	13.2
		279	79.2	58.8	27.2	11.5	15.4	9.3	10.0	5.7	1.4	1.8	3.2	3.2	1.4
		129	79.1	62.8	27.9	8.5	17.1	13.2	10.1	4.7	1.6	3.9	3.1	1.6	0.8
		81	77.8	56.8	23.5	14.8	12.3	6.2	6.2	3.7	1.2	0.0	2.5	4.9	2.5
		69	81.2	53.6	30.4	13.0	15.9	5.8	14.5	10.1	1.4	0.0	4.3	4.3	1.4
GE活用方針															
		223	65.0	50.7	19.7	14.8	17.0	8.5	5.4	5.4	1.8	0.9	2.2	4.0	6.3
		150	63.3	51.3	22.7	14.0	14.7	13.3	12.7	7.3	4.0	4.0	2.7	4.0	2.7
		27	25.9	48.1	14.8	37.0	11.1	18.5	25.9	22.2	7.4	11.1	3.7	11.1	7.4

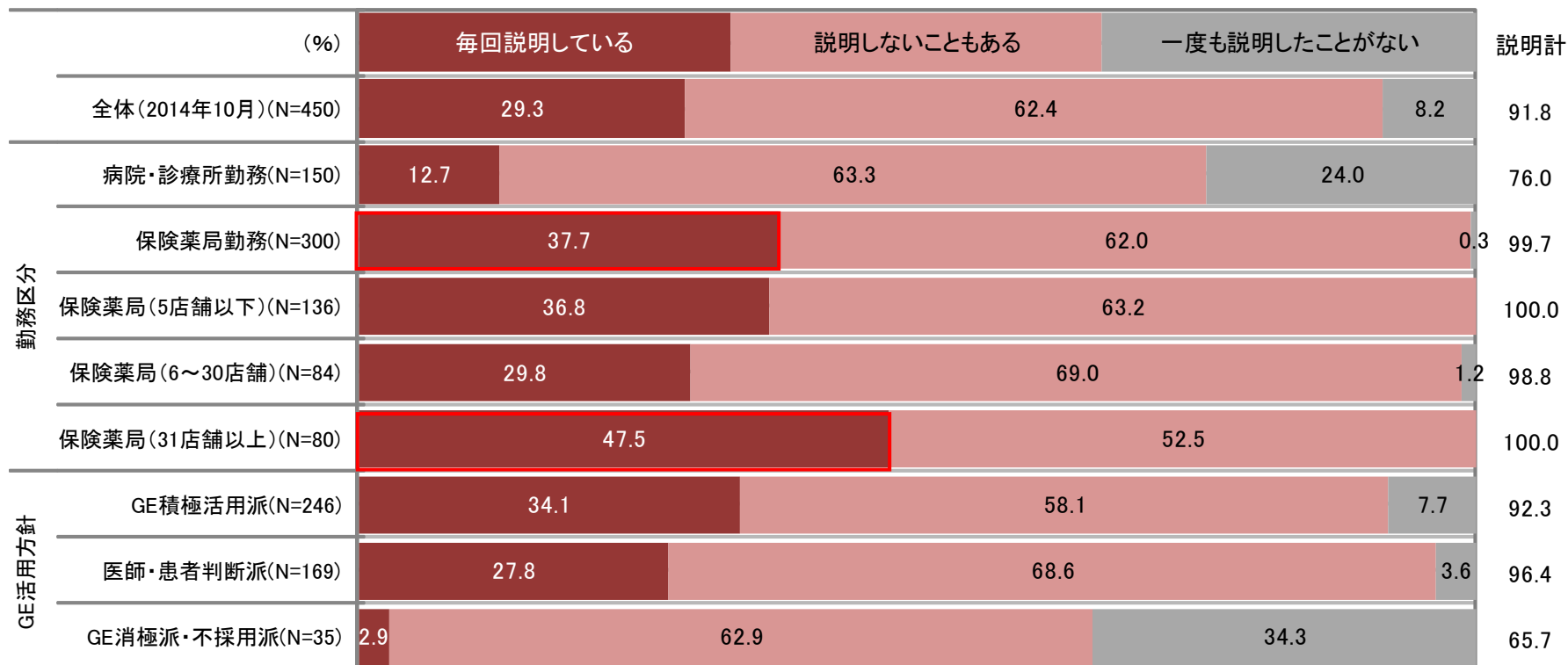
は全体より10pt以上。

は全体より10pt以下。

## Q10. 患者さんに薬を調剤する際、ジェネリック医薬品について説明されていますか。(SA)

「毎回説明している」のは全体の29.3%で、「病院・診療所」12.7%に対し「保険薬局」は37.7%と多く、特に「31店舗以上」の大規模チェーンでは47.5%と高いスコアとなっている。

「説明しないこともある」を加えた「説明する」計は、「病院・診療所」76.0%、「保険薬局」99.7%。



# ジェネリック医薬品について説明しない理由①（FAアフターコーディング集計）

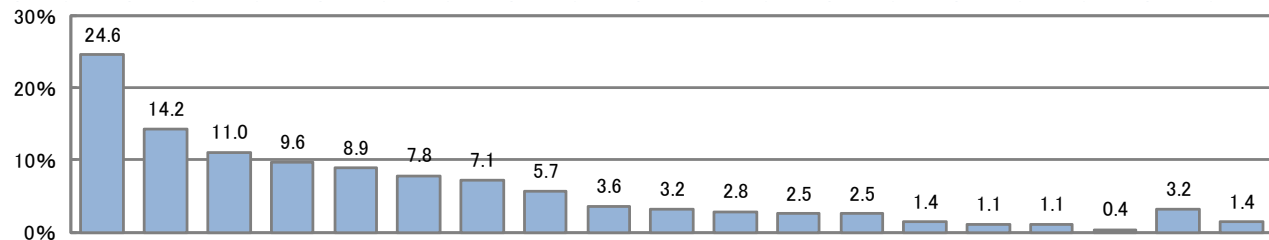
Q10で「自ら積極的に説明することが多かった」以外を選択された方へ

Q11. 前問でジェネリック医薬品について説明する際の状況について【Q10の答え】とお答えになった理由は何ですか？  
ご自由にお答えください。(FA)

説明しない理由は「患者が既に知っている／以前に説明済みだから」が24.6%でトップ。

次いで「患者がどちらを希望しているか事把握している」14.2%、「時間がかかるから／忙しいから」11.0%と続く。

「説明しないこともある」



	(%)	N	理由																		
			患者が既に知っている	患者がどちらを希望しているか事把握している	時間がかかるから	病院・医師の方針に従っている	在庫が無いから	説明しない限り患者から希望されない	知らない／説明しても伝わらないことがある	院内処方だから	患者に時間がない	説明しなくても、ジェネリック医薬品を調剤している	状況に応じて説明する必要に応じない	薬価差がないから	患者と話す機会がない	薬効・安全性に問題がある	信用してほしくない	ジェネリック医薬品を知られているから	そのジェネリック医薬品自体が一般によく知られている	院外処方だから	その他
全体	全体	281	24.6	14.2	11.0	9.6	8.9	7.8	7.1	5.7	3.6	3.2	2.8	2.5	2.5	1.4	1.1	1.1	0.4	3.2	1.4
勤務区分	病院・診療所勤務	95	14.7	6.3	9.5	2.1	11.6	9.5	7.4	16.8	3.2	4.2	5.3	1.1	6.3	1.1	2.1	3.2	1.1	1.1	1.1
	保険薬局勤務	186	29.6	18.3	11.8	13.4	7.5	7.0	7.0	0.0	3.8	2.7	1.6	3.2	0.5	1.6	0.5	0.0	0.0	4.3	1.6
	保険薬局(5店舗以下)	86	30.2	15.1	10.5	12.8	9.3	5.8	5.8	0.0	2.3	5.8	2.3	0.0	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	7.0	2.3
	保険薬局(6~30店舗)	58	31.0	19.0	10.3	13.8	5.2	10.3	12.1	0.0	3.4	0.0	0.0	8.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	1.7
	保険薬局(31店舗以上)	42	26.2	23.8	16.7	14.3	7.1	4.8	2.4	0.0	7.1	0.0	2.4	2.4	0.0	4.8	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
GE活用方針	GE積極活用派	143	30.8	14.0	9.8	7.0	8.4	7.0	9.1	7.7	2.8	3.5	2.1	1.4	2.1	1.4	0.7	1.4	0.0	2.8	0.7
	医師・患者判断派	116	19.0	16.4	11.2	12.1	9.5	8.6	6.0	3.4	5.2	3.4	2.6	4.3	1.7	1.7	0.9	0.9	0.0	3.4	1.7
	GE消極派・不採用派	22	13.6	4.5	18.2	13.6	9.1	9.1	0.0	4.5	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	4.5	0.0	4.5	4.5	4.5

は全体より10pt以上。

は全体より10pt以下。



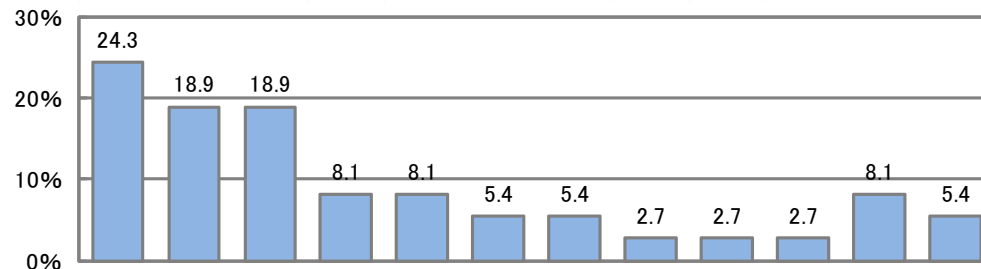
## ジェネリック医薬品について説明しない理由②（FAアフターコーディング集計）

Q10で「自ら積極的に説明することが多かった」以外を選択された方へ

Q11. 前問でジェネリック医薬品について説明する際の状況について【Q10の答え】とお答えになった理由は何ですか？  
ご自由にお答えください。(FA)

一度も説明していない理由は「院内処方だから／病院勤務だから」が24.3%でトップ。  
次いで「在庫が無いから／採用薬でないから」「患者と接しない／患者と話す機会がない」が18.9%で続く。

「一度も説明した  
ことがない」

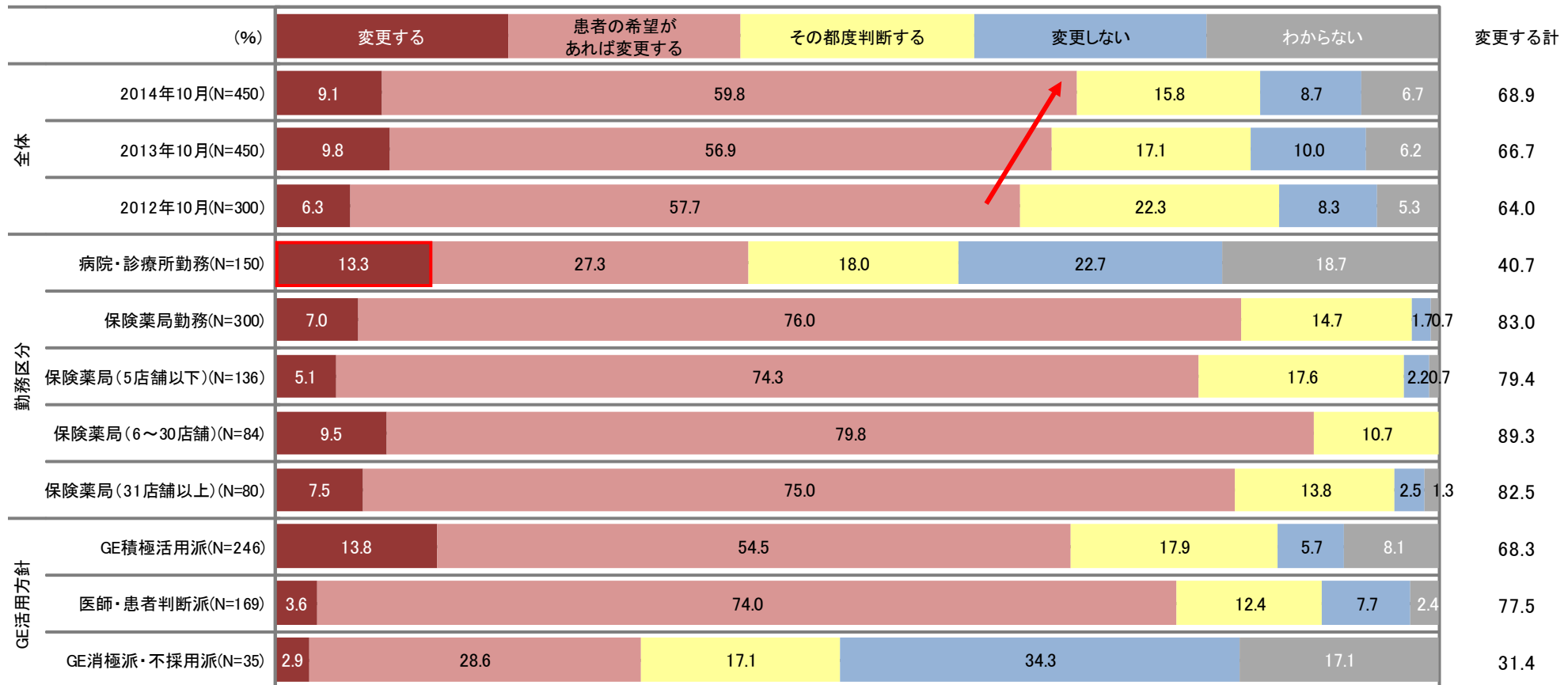


(%)		N	／院内処方だから 病院勤務だから	／在庫が無いから 採用薬でないから	／患者と接しない 患者と話す機会がない	説明しないから希望されない限り	説明しなくても、ジェネリック	従病・医師の方針に	院外処方だから	伝わらない／説明してあるから	患者がジェネリックを 薦めたくないから	ジェネリック医薬品を	／忙しいからから	その他	特になし
全体	全体	37	24.3	18.9	18.9	8.1	8.1	5.4	5.4	2.7	2.7	2.7	2.7	8.1	5.4
勤務区分	病院・診療所勤務	36	25.0	19.4	19.4	8.3	8.3	2.8	5.6	2.8	2.8	2.8	2.8	8.3	5.6
	保険薬局勤務	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	保険薬局(5店舗以下)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	保険薬局(6～30店舗)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	保険薬局(31店舗以上)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
GE活用方針	GE積極活用派	19	26.3	15.8	26.3	10.5	10.5	0.0	5.3	5.3	0.0	5.3	5.3	5.3	5.3
	医師・患者判断派	6	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	GE消極派・不採用派	12	25.0	16.7	8.3	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3	8.3

# 今後、ジェネリック医薬品変更可能な処方薬の場合、ジェネリック医薬品を調剤するか

Q12. 今後、ジェネリック医薬品への変更が「不可」となっていない処方薬の場合、ジェネリック医薬品に変更しますか？(SA)

「変更する」は全体で9.1%で13年10月から微減。「患者の希望があれば変更」を加えた「変更する」計は68.9%で、12年10月調査より徐々にスコアが伸びてきている。「病院・診療所」では「変更する(TOP1)」が13.3%と高い。

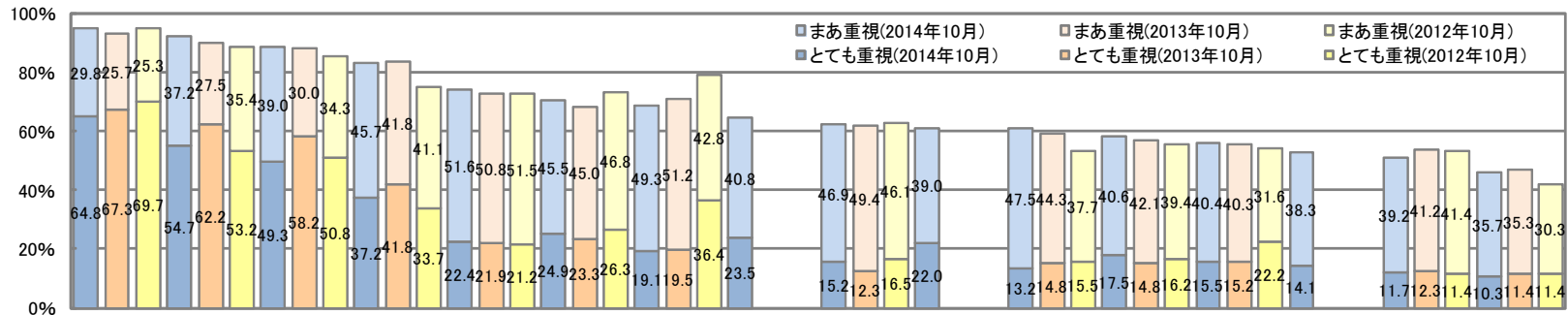


# ジェネリック医薬品 採用時重視点

Q2で「活用していない」以外を  
選択された方へ

## Q13. あなたのお勤め先では、ジェネリック医薬品を採用する際に、何を重視しますか。(5段階SAマトリクス)

採用時の重視点は「供給が安定している」が94.6%でトップ。「品質が信頼できる」91.9%、「有効性・安全性の高さ」88.3%で続き、この傾向は12年10月調査から変わらない。「薬価の安さ」のスコアは減少傾向にある。

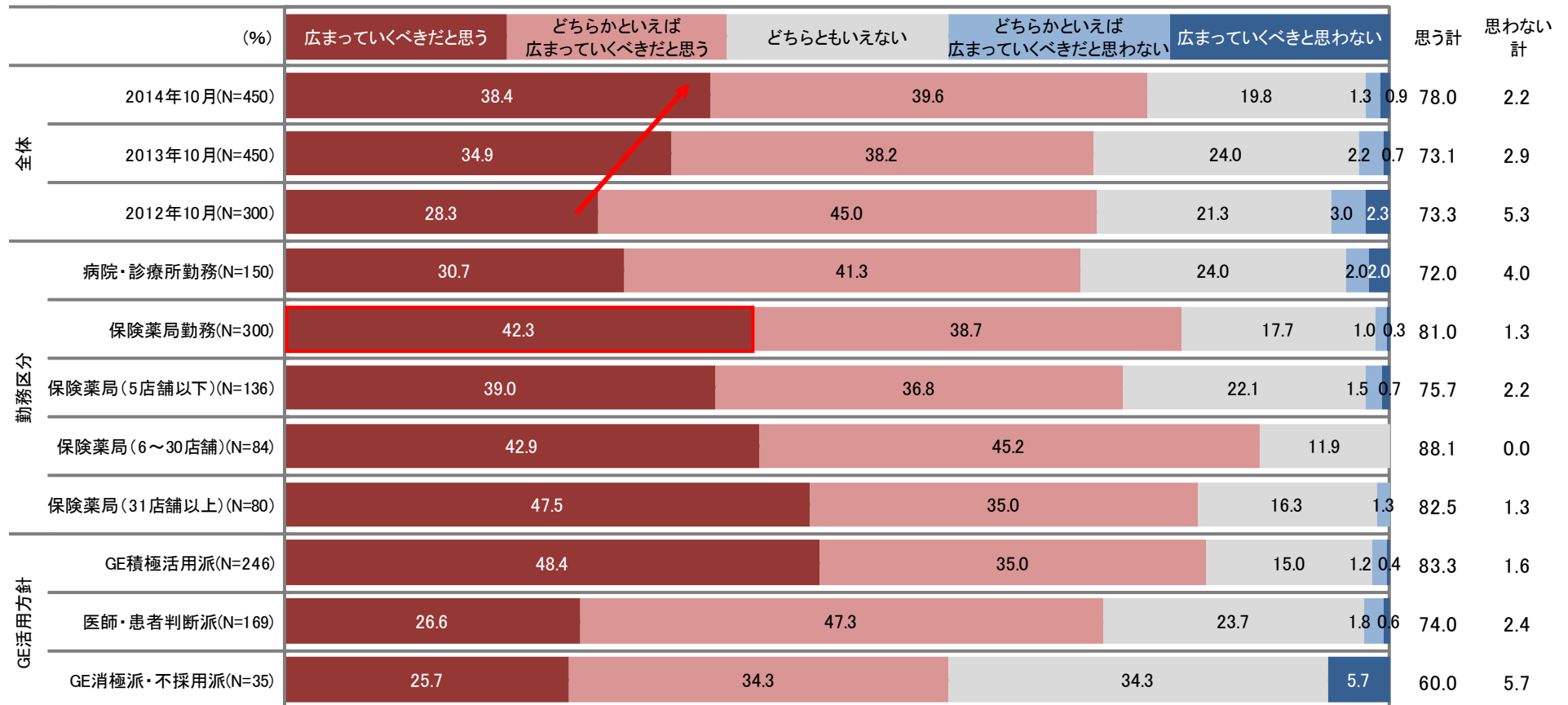


重視点 (%)	N	供給が安定している	品質が信頼できること	有効性・安全性の高さ	十分な情報提供がなされていること	製品の利便性	販売経路	薬価の安さ	製品の臨床データがあること	製剤的工夫がされていること	薬価差益の大きさ	企業の規模、ブランド力	採用実績	他の医療機関での実績	M R の対応力	似ていると大きさや形が先発品と大きいこと	評判や第三者からの評価	取扱品目の多さ
		2014年10月	2013年10月	2012年10月	2014年10月	2013年10月	2012年10月	2014年10月	2013年10月	2012年10月	2014年10月	2013年10月	2012年10月	2014年10月	2013年10月	2012年10月	2014年10月	2013年10月
全体	297	94.6	91.9	88.3	83.0	74.0	70.4	68.4	64.3	62.1	61.0	60.8	58.1	55.8	52.5	50.9	46.0	
	447	93.1	89.7	88.1	83.7	72.7	68.2	70.7	61.7	61.7	59.1	56.8	55.5	53.5	46.8			
	446	94.9	88.6	85.2	74.7	72.7	73.1	79.1	62.6	62.6	53.2	55.6	53.9	52.9	41.8			
勤務区分	147	93.9	91.8	87.8	85.7	74.1	68.0	76.2	70.7	70.1	69.4	61.9	66.0	62.6	46.3	57.1	46.9	
	299	95.0	92.0	88.6	81.6	73.9	71.6	64.5	61.2	58.2	56.9	60.2	54.2	52.5	55.5	47.8	45.5	
	136	94.9	91.2	86.8	80.9	74.3	74.3	61.0	59.6	52.2	47.8	61.8	51.5	56.6	57.4	47.1	44.9	
	84	96.4	92.9	89.3	79.8	77.4	76.2	64.3	54.8	64.3	66.7	56.0	54.8	45.2	51.2	51.2	42.9	
	79	93.7	92.4	91.1	84.8	69.6	62.0	70.9	70.9	62.0	62.0	62.0	58.2	53.2	57.0	45.6	49.4	
GE活用方針	246	95.5	91.1	89.0	83.3	74.4	71.5	71.1	65.4	65.4	67.1	63.4	59.3	54.9	55.7	52.0	50.4	
	169	92.3	92.3	86.4	79.9	71.0	65.7	60.9	61.5	55.0	50.9	55.0	53.8	53.3	49.1	47.9	39.6	
	31	100.0	96.8	93.5	96.8	87.1	87.1	87.1	71.0	74.2	67.7	71.0	71.0	77.4	45.2	58.1	45.2	

# 今後ジェネリック医薬品が世の中に広まっていくべきか

Q14. ジェネリック医薬品が、国民医療費の節減や患者負担の軽減に寄与することを踏まえ、あなたご自身のお考えとしてお答えください。  
今後ジェネリック医薬品はよりいっそう世の中に広まっていくべきだと思いますか？(SA)

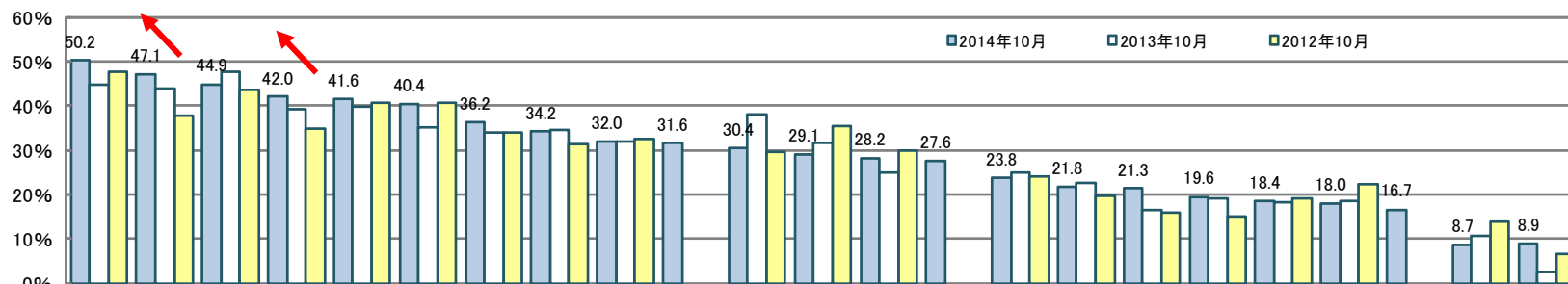
「広まっていくべきだと思う(TOP1)」と回答したのは全体の38.4%で、13年10月より3.5pt増加。  
「保険薬局」において42.3%と高いスコアになっている。



# ジェネリック医薬品を積極活用するために必要なこと

Q15. 今後、あなたご自身がジェネリック医薬品をいま以上に信頼し、積極的に活用するようになるためには、どのようなことが必要ですか？ (MA)

「医師がジェネリック医薬品に対する理解を深める」が50.2%でトップ。13年10月調査より5.3pt増加。  
 「国が品質を保証」「患者がジェネリック医薬品のことを知るようになる」などのスコアが上昇傾向。



(%)	N	医師がジェネリック医薬品に対する理解を深める	国がジェネリック医薬品の品質を保証する	安定供給できる体制を整える	患者がジェネリック医薬品のことを知るようになる	国が使用を促進する制度に取り組む	国がジェネリック医薬品の製造を取り組む	ジェネリック医薬品メーカーがより高品質な製品の開発・製造に取り組む	ジェネリック医薬品メーカーからの情報提供を充実させる	ジェネリック医薬品メーカーの啓発活動に取り組む	国が国民に対する信頼感が増える	ジェネリック医薬品メーカーに対する信頼感が増える	有効性の実証	臨床データの開示などによる	在庫問題などを解決する	確実な制度を導入する	切り替えても利益を確保できる	ジェネリック医薬品に採用する	大学病院など大病院が採用すること	一般名処方が広まること	薬剤師がジェネリック医薬品に対する理解を深める	自治体や国保が積極的に使用促進に取り組む	医師や薬剤師が患者に説明しやすい体制(パンフレット等)が充実する	企業や健保組合が積極的に使用促進に取り組む	新薬メーカーがジェネリック医薬品に積極的に取り組む	薬価を大幅に改定する	ジェネリック医薬品の薬価を改定する	M/Rの対応力向上	M/Rを増やす	新薬(長期収載品)とジェネリック医薬品の薬価を同一にする	その他
全体	2014年10月	450	50.2	47.1	44.9	42.0	41.6	40.4	36.2	34.2	32.0	31.6	30.4	29.1	28.2	27.6	23.8	21.8	21.3	19.6	18.4	18.0	16.7	8.7	8.9						
	2013年10月	450	44.9	44.0	47.8	39.3	39.8	35.1	34.0	34.4	32.0			38.0	31.6	24.9	27.6	24.9	22.7	16.4	19.1	18.2	18.4		10.7	2.7					
	2012年10月	300	47.7	37.7	43.7	35.0	40.7	40.7	34.0	31.3	32.7			29.7	35.3	30.0		24.0	19.7	16.0	15.0	19.0	22.3		14.0	6.7					
勤務区分	病院・診療所	150	40.0	41.3	43.3	28.0	36.7	38.7	42.7	24.0	32.7	40.7	24.7	28.0	24.7	28.0	22.7	16.7	18.0	15.3	21.3	16.7	21.3	7.3	6.0						
	保険薬局	300	55.3	50.0	45.7	49.0	44.0	41.3	33.0	39.3	31.7	27.0	33.3	29.7	30.0	27.3	24.3	24.3	23.0	21.7	17.0	18.7	14.3	9.3	10.3						
	保険薬局(5店舗以下)	136	47.8	52.9	45.6	42.6	40.4	45.6	35.3	42.6	32.4	27.2	36.8	25.0	23.5	19.1	18.4	20.6	14.0	17.6	16.2	20.6	10.3	10.3							
	保険薬局(6~30店舗)	84	67.9	39.3	44.0	50.0	40.5	33.3	26.2	29.8	27.4	20.2	34.5	32.1	32.1	33.3	23.8	26.2	21.4	26.2	15.5	22.6	4.8	8.3	11.9						
	保険薬局(31店舗以上)	80	55.0	56.3	47.5	58.8	53.8	42.5	36.3	43.8	35.0	33.8	26.3	35.0	38.8	27.5	33.8	32.5	28.8	30.0	17.5	18.8	13.8	8.8	8.8						
GE活用方針	GE積極活用派	246	56.5	49.2	48.0	44.3	44.7	43.9	36.2	38.6	35.0	34.1	30.1	29.7	34.1	32.9	28.0	26.0	24.0	22.8	21.5	21.1	18.7	9.3	8.5						
	医師・患者判断派	169	45.0	47.3	43.8	43.2	38.5	35.5	32.5	32.0	26.6	27.2	33.1	26.6	22.5	21.9	18.3	16.6	17.2	16.0	15.4	15.4	12.4	8.3	9.5						
	GE消極派・不採用派	35	31.4	31.4	28.6	20.0	34.3	40.0	54.3	14.3	37.1	34.3	20.0	37.1	14.3	17.1	20.0	17.1	22.9	14.3	11.4	8.6	22.9	5.7	8.6						

は全体より10pt以上。

は全体より10pt以下。